

# 江田島市スポーツ推進計画

平成29年4月

江田島市教育委員会

## はじめに

江田島市では、「第2次江田島市総合計画」において、「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」を都市像に掲げるとともに、それを実現するための戦略として「市民満足度の高いまちづくり」及び「未来を切り開くまちづくり」を掲げています。

このような中、教育委員会では、市民の健康増進と体力の向上やスポーツを通じた交流を推進するために、「市民誰もが健康で気軽にスポーツを楽しむ江田島市」を基本理念に掲げるとともに、「スポーツ活動への多様な参加の推進」、「生涯を通じたスポーツ活動の推進」、「多様な目的に応じたスポーツ活動の推進」を基本目標とする「江田島市スポーツ推進計画」を策定しました。

この計画に基づいて、今後、市民の皆様一人ひとりが、自分に適したスポーツを見つけ、健康づくり、レクリエーション、自己の記録や能力の向上など、それぞれの目標に応じて取り組むことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。このため、生涯スポーツの推進等5つの基本方針により取り組み、市民やスポーツ団体の皆様との協働により、一步ずつ前進して参ります。

終わりに、この計画の策定にあたり、ご尽力を賜りました「江田島市スポーツ推進計画審議会」各委員並びにご協力いただきました関係団体、市民の皆様に心から感謝申し上げます。

平成29年4月

江田島市教育委員会  
教育長 御堂岡 健

## 目 次

序 章	計画策定に当たって	1
第1章	スポーツ推進に係る課題と計画の方針	2
1	スポーツ推進に係る課題	2
2	計画の基本理念	4
3	計画の基本目標	4
4	計画の基本方針	6
5	計画の数値目標	8
第2章	基本計画	10
1	生涯スポーツの推進	10
2	競技スポーツの推進	13
3	スポーツ活動を支える体制づくり	16
4	スポーツ環境の充実	18
5	スポーツを通じたまちづくりの推進	20
第3章	計画の推進方策	21
1	情報提供・相談助言の充実	21
2	計画推進体制の充実	21
3	計画のフォローアップ	22
資料編		
資料1	スポーツ活動の現状と問題点	23
資料2	スポーツに関する市民アンケート調査結果	34
資料3	学校体育, スポーツ団体調査結果	53
資料4	計画策定の経緯	58

# 序章 計画策定に当たって

## 1 計画策定の目的

スポーツは心身の成長に大きな効果をもたらすものであり、体力づくり、健康の維持等を目的として、年齢、体力、興味に応じて、個人または団体において多様な活動が行われています。

本市では、平成22年3月に「江田島市スポーツ振興計画」を策定し、住民誰もがスポーツに親しむ環境づくりを推進するために、総合型地域スポーツクラブの運営支援など、様々な取り組みを行ってきました。

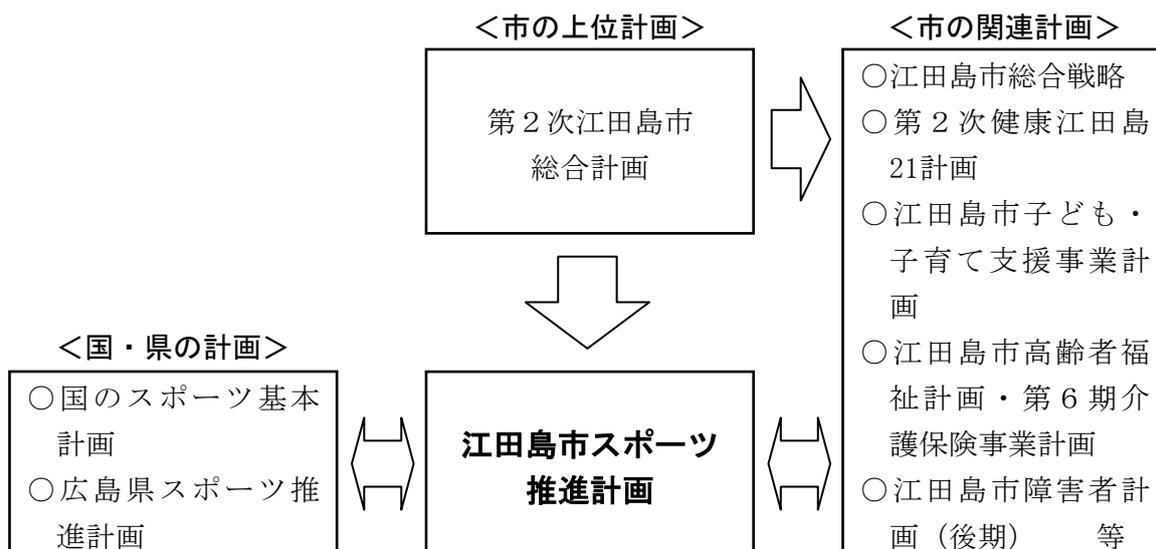
こうした中、国（文部科学省）では、スポーツ立国の実現を目指し、昭和36年制定の「スポーツ振興法」を全部改正し、平成23年6月に「スポーツ基本法」を制定しました。

また、本市では計画策定後6年が経過し、スポーツを取り巻く環境及びニーズが変化してきていることなどを踏まえて「江田島市スポーツ推進計画」の策定を行うもので、本市の今後のスポーツ推進の指針とするものです。

## 2 計画の位置づけと性格

本計画は、スポーツ基本法第10条に基づいて、江田島市のスポーツ推進に関する計画を策定するもので、次のような性格を有しています。

- 国のスポーツ基本計画、広島県スポーツ推進計画を受け、江田島市におけるスポーツ推進の指針となるものです。
- 江田島市の総合計画に基づくとともに、関連計画との整合を図りながら、本市のスポーツ推進に係る具体的な取り組みを示すものです。
- 市民一人ひとり、スポーツ団体、地域、行政などにおいて、スポーツ活動の基本的な指針となるものです。



## 3 計画の期間

本計画の期間は、平成29～38年度の10年間とします。中間年には進捗状況を踏まえ、見直しを行い、必要に応じて計画を変更します。

# 第1章 スポーツ推進に係る課題と計画の方針

## 1 スポーツ推進に係る課題

### (1) スポーツに対する関心の醸成と参加の促進

スポーツに関する市民アンケート調査（平成27年度）において、運動不足を感じている人の割合は約8割ですが、月1回以上運動している人は約5割と少なく、文部科学省が平成25年1月に実施した「体力・スポーツに関する世論調査」の全国平均を下回っている状況です。このため、市民に対してスポーツの多様な役割に係る意識啓発と市民のスポーツ活動への参加の促進を図る必要があります。

### (2) 学校体育の充実

児童・生徒の体力・運動能力調査結果を踏まえ、教育委員会、小中学校が連携して授業の改善等により体力・運動能力の向上に取り組む必要があります。

また、中学校の部活動は、生徒数の減少に伴い生徒のニーズに応じたクラブ設置が難しくなっていること、部員数が少ないため部員同士の競争意識が芽生えにくいこと、先生のみでの指導では対応できない種目があることから、市内中学校間の連携の強化による競技力の向上、スポーツ団体と連携した指導者の確保、多様なスポーツ機会の提供等に取り組む必要があります。

### (3) スポーツ団体の活動の強化

生涯スポーツの担い手であるNPO法人江田島eスポーツクラブ（以下「江田島eスポーツクラブ」という。）の認知度が低く、会員数が減少傾向にあるため、周知を徹底するとともに、事務局機能の強化、幅広いスポーツ機会の提供を働きかける必要があります。

また、本市の競技スポーツを担う江田島市体育協会、ジュニアスポーツを担う江田島市スポーツ少年団の事務局機能も弱いため、江田島eスポーツクラブを加えた3団体の連携による総合的なスポーツ推進体制づくりを働きかける必要があります。

### (4) スポーツを支える人材の育成

本市の人口の減少に伴い競技スポーツ活動の指導者、審判員が減少してきており、官民が連携してこうした人材の確保、養成に取り組む必要があります。

また、生涯スポーツ、健康づくり活動の普及に取り組んでいるスポーツ推進委員、運動普及推進員の活動周知が不十分なため、周知の徹底、幅広い活動機会の提供に取り組む必要があります。

### (5) 公共スポーツ施設・学校体育施設の利用しやすさの充実

市民からは施設利用料を安くすること、利用手続きの簡素化、スポーツ団体からは施設利用料の減免が求められており、施設利用料に対する理解の醸成、利用手続きの簡素化、円滑化に取り組む必要があります。

また、既存スポーツ施設の改善も求められており、空調等の設備、運動機器の更新等に取り組む必要があります。

## (6) スポーツ環境の充実

市民ニーズの高い種目（ウォーキング、体操、水泳、ランニング、室内運動器具を使う運動）の環境整備、今後可能であれば整備・充実して欲しい公共スポーツ施設（室内プール、室内トレーニング施設、家の近くで自由に運動できる広場・公園、ジョギングコース、ウォーキングコースの整備）への対応を検討する必要があります。

## (7) スポーツに係る総合的な情報発信体制の確立

スポーツ施設の利用方法、スポーツ団体・サークルの状況、スポーツ教室及びスポーツイベントの開催等の情報発信が不十分な状況にあります。

このため、スポーツに関する多様な情報を、市の広報、ホームページ等様々な媒体で発信し、市民のスポーツへの参加意欲を高める必要があります。

また、スポーツを始めるきっかけがつかめない人などを対象としたスポーツ相談助言体制づくりをスポーツ団体と連携して検討する必要があります。

## (8) スポーツを通じたまちづくりへの対応

スポーツイベントへは広域から多くの選手、応援団が訪れており、こうした来訪客に対する観光PRを強化し、市内周遊、観光消費の促進による市の活性化に結びつける必要があります。

## 2 計画の基本理念

本市では、市民一人ひとりが、年齢、健康状態、好みなどに応じて、様々なスポーツに親しむことができるように、「市民誰もが健康で気軽にスポーツを楽しむ江田島市」を基本理念として掲げます。この基本理念のもと、市民一人ひとりが自分に適したスポーツを見つけ、それぞれの目標に応じて取り組むことができる生涯スポーツ社会の実現を目指します。

### 計画の基本理念 「市民誰もが健康で気軽にスポーツを楽しむ江田島市」

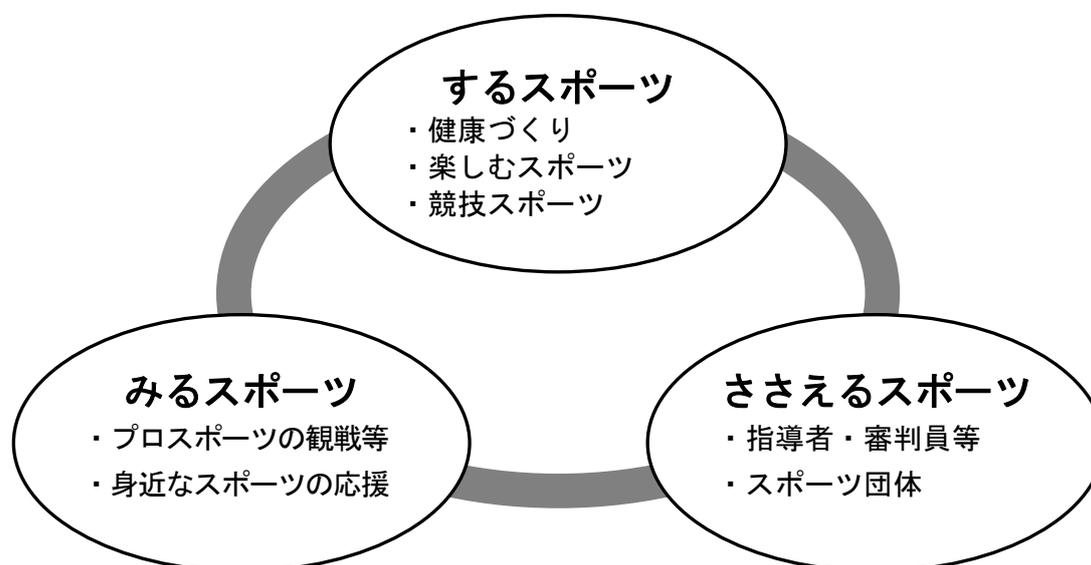
## 3 計画の基本目標

### (1) スポーツ活動への多様な参加の推進

スポーツには、自らが身体を動かし実践する「するスポーツ」、トップアスリートの競技・演技を見たり、家族や知り合いを応援する「みるスポーツ」、スポーツ大会の運営を支援（指導者・審判員等）したり、スポーツの普及・振興に携わる「ささえるスポーツ」があります。

このように多様な側面を持つスポーツに、市民一人ひとりが積極的に関わることのできる社会の実現を目指します。

#### スポーツの視点

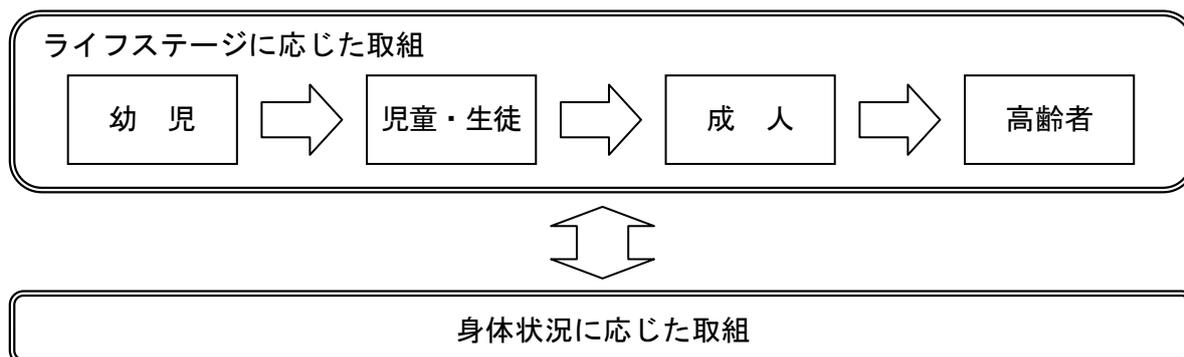


## (2) 生涯を通じたスポーツ活動の推進

幼児期（3～6歳頃）、児童・生徒期（6～18歳頃）、成人期（18～65歳頃）、高齢期（65歳頃～）などのライフステージに応じて、スポーツへの目的や関わりは異なります。特に、成人期において仕事や子育てなどでスポーツに取り組む時間が少なくなっています。また、身体状況によってもスポーツへの取組は変わってきます。

こうしたことから、ライフステージや身体状況に応じて、市民誰もがスポーツ活動を楽しむ社会の実現を目指します。

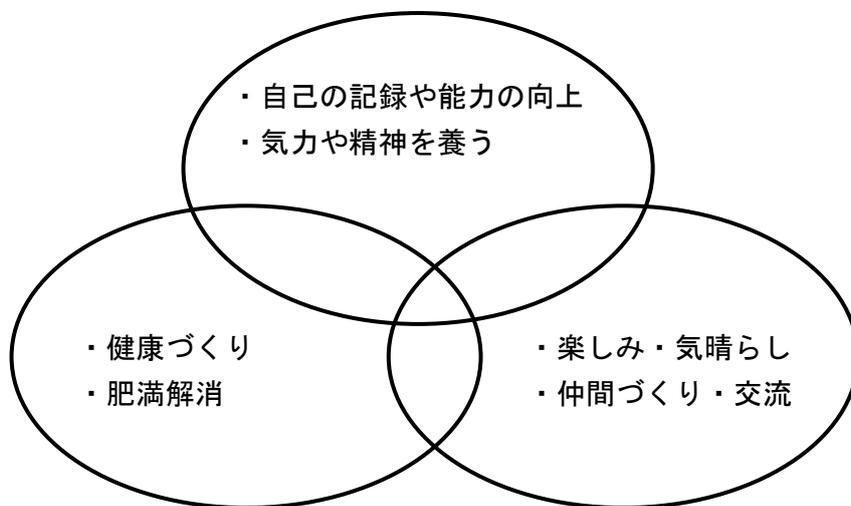
### 生涯にわたるスポーツ



## (3) 多様な目的に応じたスポーツ活動の推進

近年の生活スタイルの変化に伴い、運動不足による体力低下や生活習慣病・メタボリック症候群の増加と低年齢化が進行しています。こうした中、競技力の向上だけでなく、心身両面にわたる健康の維持増進や個人の生きがいづくりを目的としてスポーツに取り組む市民が増加しており、市民の目的に応じて個人の健康づくりから競技スポーツに至る幅広いスポーツ活動ができる社会の実現を目指します。

### スポーツの多様な目的



## 4 計画の基本方針

計画の基本理念や計画の基本目標を実現するために、次のような5つの基本方針を掲げ、この基本方針のもとに具体的な施策を推進します。

### (1) 生涯スポーツの推進

全ての市民が、ライフステージ（幼児期，児童・生徒期，成人期，高齢期）や身体状況に応じて気軽にスポーツを楽しめるように，スポーツに関する市民への意識啓発，多様なスポーツの普及などに取り組むとともに，スポーツ団体，スポーツ推進委員，運動普及推進員などの活動を支援します。

### (2) 競技スポーツの推進

スポーツの振興や継続的なスポーツ活動の普及・拡大を図る上で重要な役割を担っているスポーツ指導者及び審判員について，スポーツ団体が行っている新規指導者・審判員の育成，資質の向上を図るための事業を支援します。

また，指導者及び審判員資格を持つ人材を発掘，活用するために，スポーツ団体へ人材バンクの設置を働きかけます。

### (3) スポーツ活動を支える体制づくり

江田島市において，生涯スポーツを支えている江田島eスポーツクラブ，競技スポーツを支えている江田島市体育協会，ジュニアスポーツを支えている江田島市スポーツ少年団の3団体の連携の強化，総合的なスポーツ推進体制づくりを働きかけるとともに，こうした取り組みを支援し，江田島市の総合的なスポーツ推進に結びつけます。

### (4) スポーツ環境の充実

市民が気軽にスポーツを楽しむ環境づくりを推進するため，身近な地域にある広場，集会所を活用したスポーツ機会の提供を行うとともに，既存公共スポーツ施設や学校体育施設の利用促進を図るために，利用手続きの簡素化，市スポーツセンターのトレーニング施設をはじめとする設備・運動機器の改善・充実などを行います。

### (5) スポーツを通じたまちづくりの推進

「ヒロシマMIKANマラソン大会」，「江田島市かきカキマラソン大会」などのスポーツイベントへ市外から多くの出場者，応援団が来訪しており，こうした来訪客の市内周遊，観光消費を促進して，本市の活性化に結びつけます。

## 施策の体系

### 計画の基本理念

**市民誰もが健康で気軽にスポーツを楽しむ江田島市**

### 計画の基本目標

- (1) スポーツ活動への多様な参加の推進
- (2) 生涯を通じたスポーツ活動の推進
- (3) 多様な目的に応じたスポーツ活動の推進

### 計画の基本方針

- (1) 生涯スポーツの推進
- (2) 競技スポーツの推進
- (3) スポーツ活動を支える体制づくり
- (4) スポーツ環境の充実
- (5) スポーツを通じたまちづくりの推進

## 5 計画の数値目標

基本理念に掲げた「市民誰もが健康で気軽にスポーツを楽しむ江田島市」の実現に向けて、基本方針別に次のような数値目標を掲げます。

なお、中間年あたりでの計画の点検を想定していることから、数値目標の目標年次を平成33年に設定しました。

### (1) 生涯スポーツの推進

生涯スポーツの推進においては、週1回以上スポーツをしている人の割合、スポーツクラブ等へ加入している人の割合、スポーツ推進委員及び運動普及推進員の認知度を数値目標として掲げます。

指 標	目 標		備 考
	平成27年度	平成33年度	
週1回以上スポーツをしている人の割合（18歳以上）	39%	45%	・スポーツに関する市民アンケート調査結果
スポーツクラブ等へ加入している人の割合（18歳以上）	16%	18%	・スポーツに関する市民アンケート調査結果
スポーツ推進委員の認知度（18歳以上）	13%	20%	・スポーツに関する市民アンケート調査結果
運動普及推進員の認知度（18歳以上）	11%	20%	・スポーツに関する市民アンケート調査結果

### (2) 競技スポーツの推進

競技スポーツの推進においては、江田島市スポーツ少年団（小学生）の加入率、指導者・審判員養成講習会への参加者数、スポーツボランティア活動に参加した人（18歳以上）の割合を数値目標として掲げます。

指 標	目 標		備 考
	平成27年度	平成33年度	
江田島市スポーツ少年団（小学生）の加入率（注-1）	24%	27%	・江田島市スポーツ少年団
指導者・審判員養成講習会への参加者数（注-2）	33人	50人	・江田島市体育協会
スポーツボランティア活動に参加した人の割合（18歳以上）（注-3）	17%	20%	・スポーツに関する市民アンケート調査結果

注-1：江田島市スポーツ少年団（小学生）の加入率は、「江田島市総合戦略」で目標値が設定されている。H31：26%を踏まえてH33の目標値を設定。

-2：指導者・審判員養成講習会への参加者数は、江田島市体育協会の補助で指導者・審判員講習会に参加した累計の人数。

-3：スポーツボランティア活動に参加した人は、過去においてボランティアをした人の割合。

### (3) スポーツ活動を支える体制づくり

スポーツ活動を支える体制づくりにおいては、江田島eスポーツクラブの認知度（名前を知っている人）を数値目標として掲げます。

指 標	平成27年度	目 標 平成33年度	備 考
江田島eスポーツクラブの認知度（名前を知っている人）	26%	35%	・スポーツに関する市民アンケート調査結果

### (4) スポーツ環境の充実

スポーツ環境の充実においては、社会体育施設の年間利用回数、公共スポーツ施設の利用満足度を数値目標として掲げます。

指 標	平成27年度	目 標 平成33年度	備 考
社会体育施設の年間利用回数 (注)	3.53回/年	4回/年	・江田島市総合戦略
公共スポーツ施設の利用満足度	51%	57%	・スポーツに関する市民アンケート調査結果

注：社会体育施設の年間利用回数は、「江田島市総合戦略」で目標値が設定されている。  
H31：3.80回を踏まえてH33の目標値を設定。

### (5) スポーツを通じたまちづくりの推進

スポーツを通じたまちづくりの推進においては、「ヒロシマMIKANマラソン大会」及び「江田島市かきカキマラソン大会」の出場者数を数値目標として掲げます。

なお、これらイベントへの出場者数については、運営上の観点から大会規模を拡大することが難しいため、現状を維持することを目標として掲げました。

指 標	平成27年度	目 標 平成33年度	備 考
ヒロシマMIKANマラソン大会出場者数	2,400人	2,400人	・ヒロシマMIKANマラソン大会実行委員会
江田島市かきカキマラソン大会出場者数	1,500人	1,500人	・江田島市かきカキマラソン大会実行委員会

## 第2章 基本計画

### 1 生涯スポーツの推進

#### (1) 幼児のスポーツ活動の推進

##### <施策の方針>

幼児期の子どもが健やかに成長するように、家庭や地域に対して、子どもが外に出て遊ぶことの重要性についての意識啓発に取り組みます。

##### <具体的施策>

項目	事業内容
親子での遊び、運動機会の提供	子どもたちが体を動かす遊びや運動の習慣を身につけるように、親子で気軽に遊べる場やスポーツイベント、教室の開催に取り組みます。
保育園・認定こども園における体力づくり指導の充実	保育において子どもたちが遊びや運動を楽しいと実感できるように、保育士などを対象とした運動や遊びの方法に関する研修の場を確保し、資質の向上に取り組みます。

#### (2) 児童・生徒のスポーツ活動の推進

##### <施策の方針>

少子化による児童・生徒数の減少に伴い、小中学校及びスポーツ団体でのスポーツ環境が悪化しつつありますが、児童・生徒の心身の健全な発達・発育を図るため、学校、スポーツ団体、地域が連携して、児童・生徒の運動能力の向上と運動部活動及びスポーツ団体の活性化に取り組みます。

##### <具体的施策>

項目	事業内容
体力調査を活用した運動能力の改善・向上	児童・生徒の体力・運動能力調査結果を踏まえるとともに、各校の体力づくり推進リーダーを対象とした研修会を開催し、指導力の向上に取り組みます。
スポーツ少年団活動の活性化	児童・生徒数の減少に伴い、身近な単位でのスポーツ少年団活動が困難化しており、児童・生徒のスポーツの重要性、江田島市スポーツ少年団のPRを推進して会員の確保を支援するとともに、活動団体への助成を行います。
運動部活動の活性化	運動部活動は、スポーツの楽しさや喜びを味わうとともに、体力の向上や健康の増進に効果的ですが、児童・生徒数の減少に伴い、運動部の種目数の制限、部員相互の競争意識の低下などが課題になっています。 こうした中で、各種目の競技力の向上を図るため、市内中学校の合同練習、市外の中学校との練習試合の拡充、スポーツ団体と連携した外部指導者の紹介などに取り組みます。
多様なスポーツ機会の提供	児童・生徒の多様なスポーツニーズに対応するため、運動部活動で対応ができない種目については、スポーツ団体と連携してスポーツ機会の提供に努めます。

### (3) 成人のスポーツ活動の推進

#### <施策の方針>

成人がライフステージに応じて健康づくり・肥満解消，楽しみ・気晴らしなどを目的として気軽にスポーツを楽しむことができるように，健康づくりの必要性に係る意識啓発，スポーツ情報の提供などに取り組むほか，若者に魅力のあるスポーツ参加機会の提供に取り組めます。

#### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
健康づくりに関する意識啓発	健康寿命の延伸を目指して，成人期からのロコモティブシンドローム（注）予防のための運動習慣づくり，生活習慣病の予防などに関する意識啓発に取り組めます。
スポーツ情報の発信の強化	スポーツ施設及び団体などの情報を市民に広く発信するため，市の広報，ホームページ，コミュニティ団体の会合など様々な機会を活用します。
身近な場所でのスポーツの推進	仕事や子育てが忙しく，スポーツに取り組む機会のない人に対して，相談助言を行うとともに，空き時間に手軽にできる運動プログラムなどを紹介し，スポーツへのきっかけづくりに取り組めます。
ウォーキングマップの作成	運動普及推進協議会などが設定しているウォーキングコースを紹介したマップの作成を支援します。
若者に魅力のあるスポーツ参加機会の提供	若者においては，友人・仲間との交流を図るための手段としてスポーツが意識されており，出会い・交流を含めたスポーツイベントの企画を検討し，若者の参加を促進します。

注：ロコモティブシンドロームとは，運動器の障害で要介護になる危険性の高い状態。

### (4) 高齢者のスポーツ活動の推進

#### <施策の方針>

高齢者が自立した日常生活を営み，意欲的に活動できる体力を維持できるように，健康づくりに関する意識啓発，体力測定，スポーツ情報の提供等の支援を行います。

#### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
健康づくりに関する意識啓発	高齢期において社会生活に必要な運動機能を維持し，健康寿命の延伸を目指して，生活習慣病やロコモティブシンドロームの予防を図るため，福祉保健部門，運動普及推進員などと連携し，介護予防教室，高齢者サロンなどで健康づくりに関する意識啓発に取り組めます。
高齢者体力測定の支援	老人クラブが高齢者の健康維持を目的として地区単位で開催している「高齢者体力測定教室」などの支援を行います。
スポーツ情報の提供	高齢者が健康状態に応じて無理なく取り組むことができる体操，ウォーキング，グラウンド・ゴルフ，その他のニュースポーツなどの情報を市の広報，ホームページ，コミュニティ団体の会合などを通じて提供し，健康づくりやスポーツに参加する機会の充実を図ります。
ウォーキングマップの作成	運動普及推進協議会などが設定しているウォーキングコースを紹介したマップの作成を支援します。

## (5) 地域スポーツ活動の推進

### <施策の方針>

市民がスポーツを通じて同世代及び世代間交流を深めるとともに、地域コミュニティの活性化を図るため、コミュニティ団体、スポーツ推進委員、運動普及推進員と連携してスポーツ機会の提供に取り組みます。

### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
ニュースポーツ・ファミリースポーツの普及	ミニテニス、ファミリーバドミントンなど、誰もが気軽に楽しめるニュースポーツや家族単位で楽しめるファミリースポーツの普及を推進し、仲間づくり、世代間及び地域間交流に結びつけます。 このため、スポーツ推進委員と運動普及推進員などが連携して、スポーツ教室の周知、教室の充実を図るとともに、市民が参加しやすいように地域単位での教室開催を検討します。
地域スポーツ大会の活性化	まちづくり協議会をはじめとする地域団体によって開催される運動会、各種スポーツ大会をスポーツ推進委員や運動普及推進員と連携して支援し、市民の健康づくりや市民相互の親睦と交流を推進します。
スポーツ推進委員活動の推進	スポーツ推進委員は、ニュースポーツの普及、市のスポーツイベントへの協力、小学校クラブ活動への指導者派遣などを行っており、今後こうした活動を支援します。
運動普及推進員活動の推進	運動普及推進員は、生活習慣病の発症や重症化による生活機能の低下を防ぐため、市民に自分の体力に応じた運動を普及する活動（健康づくり研修会、ウォーキング大会の開催等）を行っており、こうした取組を支援します。 また、人材の育成を図るため、運動普及推進員養成講座の定期開催に向けた取組を支援します。

## (6) 障害者のスポーツ活動の推進

### <施策の方針>

障害者の健康づくり、社会参加を促進するため、障害者に対する理解の促進、スポーツ参加機会の確保に取り組みます。

### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
障害者に対する理解の促進	障害や障害者に対する理解を促進し、スポーツなどの社会参加がしやすい環境づくりに取り組みます。
スポーツ参加機会の確保	健康づくりやスポーツを通じて交流の輪を広げることができるよう、障害者団体、スポーツ団体、スポーツ推進委員及び運動普及推進員などと連携して、スポーツ大会において障害者が参加しやすい種目づくり、障害者が気軽に参加できるスポーツの紹介などに取り組みます。 また、障害者スポーツを支える指導者、ボランティアの養成を支援します。
施設の整備	障害者が安心してスポーツに取り組めるように、公共スポーツ施設のバリアフリー化に取り組みます。

## 2 競技スポーツの推進

### (1) 競技スポーツ団体の活性化

#### <施策の方針>

身体能力や技術力の向上を目的としたスポーツの振興を図るため、江田島市体育協会、江田島市スポーツ少年団などの活動を支援し、団体の活性化を図るとともに、加盟団体相互の交流の推進、競技スポーツ指導者を養成する機会の提供などを支援します。

#### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
江田島市体育協会への支援	江田島市体育協会は競技スポーツを行っている各種団体の活動を支援しており、本市における競技スポーツの向上と活動の活性化を図るために、活動助成、事務局機能の充実、スポーツ団体相互の交流の場の確保などの支援を行います。
江田島市スポーツ少年団の支援	江田島市スポーツ少年団は、小学生から本格的にスポーツに取り組む機会を提供しており、スポーツに親しむ輪の拡大を図るために、活動助成、事務局機能の充実、スポーツ団体相互の交流の場の確保などの支援を行います。
スポーツ団体のPR	江田島市体育協会や江田島市スポーツ少年団の活動の活性化を図るため、市の広報、ホームページなどあらゆる媒体を活用して団体のPRに取り組み、会員の確保に結びつけます。



## (2) スポーツを支える人材の養成

### <施策の方針>

多様化するスポーツニーズに対応するとともに競技スポーツの活性化を図るため、江田島市体育協会及び江田島市スポーツ少年団に所属する指導者、審判員の資質の向上及び新規人材の育成、スポーツ人材の活用に係る取組を支援します。

### <具体的施策>

項目	事業内容
スポーツ指導者・審判員の資質の向上及び新規養成	競技スポーツの向上を図る上では指導者、審判員の役割が重要であり、江田島市体育協会、江田島市スポーツ少年団などによる指導者の資質の向上及び新規指導者の養成に向けた講習会・研修会の開催や参加助成などの取組を支援します。
スポーツ指導者・審判員の人材バンクの設置	現在活動していない指導者・審判員の資格を保有する人材を活用するために、こうした人材を発掘・登録し、市民、学校及びスポーツ団体などのニーズに応じて派遣する人材バンクの設置を、スポーツ団体に働きかけます。 また、市の広報、ホームページなどで人材バンクのPRに取り組み、人材の登録・活用を支援します。



### (3) スポーツの魅力に触れる機会の充実

#### <施策の方針>

児童・生徒をはじめとする市民のスポーツへの関心を醸成するために、スポーツ団体と連携して様々なスポーツの魅力に触れる機会の充実に取り組みます。

#### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
スポーツ観戦ツアーの実施	スポーツの魅力を伝えるため、スポーツ団体などが行っているプロスポーツの試合の観戦ツアーなどの実施を支援します。 また、江田島市にプロ・実業団の選手を招き、練習の見学、交流の場づくりを支援します。
市内でプロスポーツ等に触れる機会の確保	スポーツ団体などが取り組んでいるプロスポーツチーム等の合宿の誘致、選手との交流会の開催などを支援します。



### 3 スポーツ活動を支える体制づくり

#### (1) 江田島 e スポーツクラブ活動の活性化

##### <施策の方針>

生涯スポーツ，地域スポーツを担う江田島 e スポーツクラブの活性化を図るために，クラブの周知，クラブ運営の充実及び運営体制の強化，クラブ環境の魅力化などに取り組みます。

##### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
クラブの周知	スポーツに関する市民アンケート調査において，江田島 e スポーツクラブの名前，活動内容を知っている人は1割未満とわずかであり，市の広報，ホームページをはじめとするあらゆる媒体や機会を通じて，江田島 e スポーツクラブの周知と参加の促進を図ります。
クラブ活動の活性化	市民が自分に適したスポーツを見つけ出せるように相談助言機能を充実するとともに，多世代，多種目，多志向に対応したクラブ運営の充実（種目の拡大，教室の増加，指導者の充実等）を働きかけます。
クラブ運営体制の強化	クラブ運営の充実に向けて，経営資源を活かしてマネジメントできる人材の養成，職員の増員を働きかけるとともに，情報の受発信などの支援を行います。
クラブ環境の魅力向上	江田島 e スポーツクラブの魅力の向上を図るため，活動拠点となっている市スポーツセンターで市民が幅広く交流できるように，休息・談話コーナーの設置などを働きかけます。

#### (2) 総合的かつ効果的なスポーツ推進体制づくり

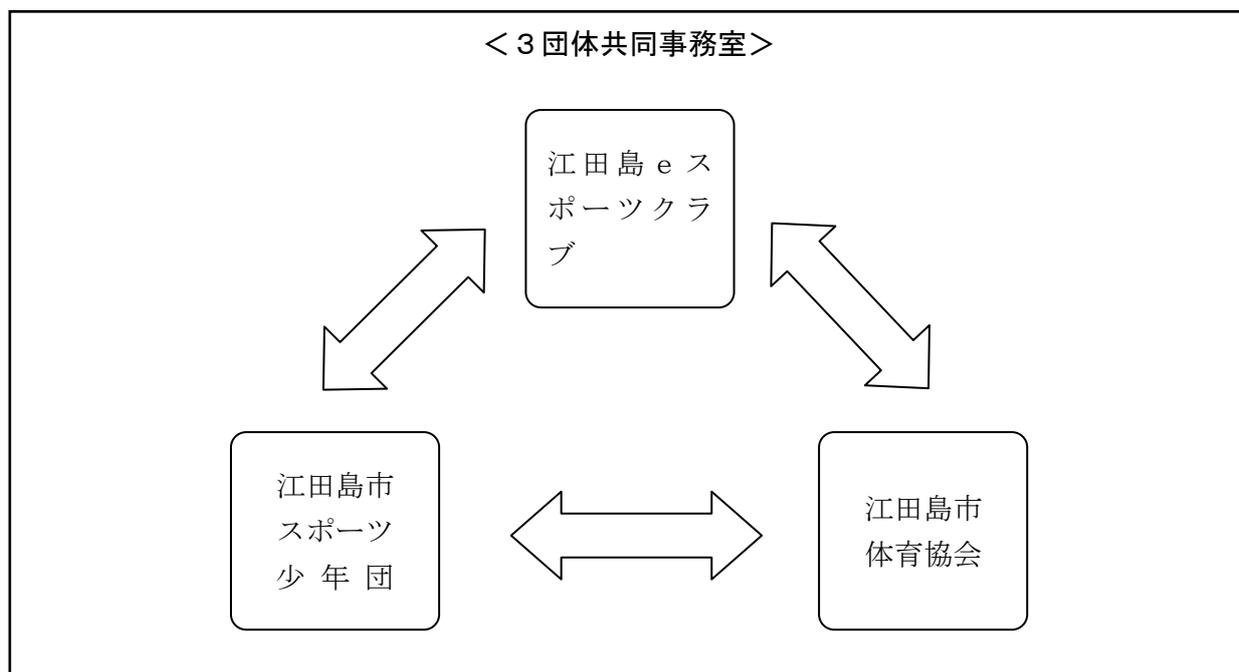
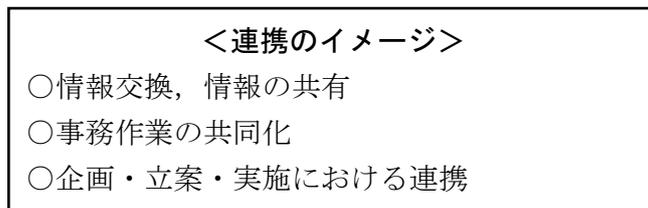
##### <施策の方針>

本市における総合的なスポーツ推進体制を構築するため，スポーツ団体相互の連携体制の強化に取り組むとともに，スポーツに関する総合窓口の設置に取り組みます。

##### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
総合的なスポーツ団体事務スペースの設置	本市のスポーツを牽引している江田島市体育協会，江田島市スポーツ少年団，江田島 e スポーツクラブの3団体の情報共有，連携体制を強化するために，市スポーツセンターへ共同事務スペースの設置を検討します。
スポーツに関する総合相談窓口の設置	スポーツ団体と連携して，スポーツに関する総合相談窓口の設置に取り組みます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり・スポーツ団体，指導者，審判員などの情報の収集・管理・提供，スポーツに関する相談助言</li> <li>・スポーツ施設の利用予約申込みの受付・管理</li> </ul>

### 3 団体共同事務スペースの設置に伴う連携イメージ



## 4 スポーツ環境の充実

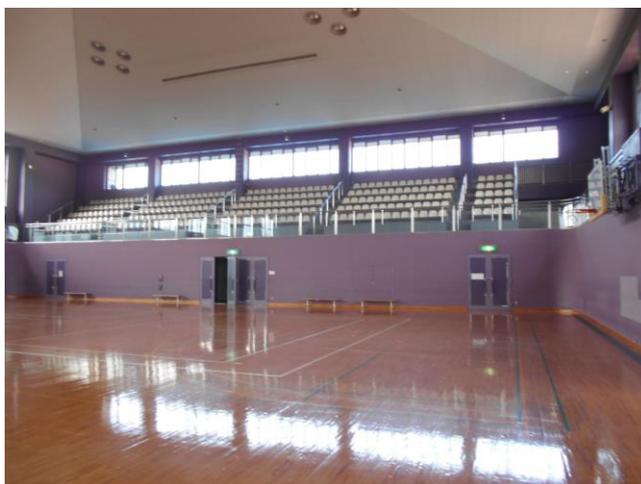
### (1) 利用しやすいスポーツ環境づくり

#### <施策の方針>

公共スポーツ施設及び学校体育施設の利用環境の向上を図るために、学校体育施設の開放の充実、旧小中学校グラウンドの活用、公共スポーツ施設の利用予約の改善及び管理運営主体の検討に取り組みます。

#### <具体的施策>

項 目	事 業 内 容
学校体育施設の開放の充実	市民に幅広く開放できるように、小中学校のカリキュラム、放課後のクラブでの利用状況を踏まえて、学校体育施設の開放日、開放時間の拡大を働きかけます。
旧小中学校グラウンドの活用	旧小中学校グラウンドを地域の身近なスポーツ活動の場として提供することを検討します。
公共スポーツ施設の利用予約の改善	公共スポーツ施設の利用予約の一元化、簡素化を図るために、スポーツ団体への事務委託を検討します。
公共スポーツ施設の管理運営主体の検討	公共スポーツ施設利用者に対するサービスの向上と施設利用の促進を図るために、指定管理者制度の導入を検討します。



## (2) スポーツ施設の整備・改修

### <施策の方針>

スポーツの主要な活動の場となっている公共スポーツ施設の利用促進を図るため、バリアフリー化、設備・備品などの充実を図るほか、市民ニーズに対応した施設の整備を検討します。

### <具体的施策>

項目	事業内容
公共スポーツ施設のバリアフリー化	公共スポーツ施設のバリアフリー化を推進し、障害者・高齢者をはじめ全ての市民が安心してスポーツを楽しめる環境づくりを行います。
既存スポーツ施設の整備	既存スポーツ施設を利用しやすくするために、空調などの設備、種目別の備品の充実に取り組みます。
ニーズに対応した施設整備の検討	スポーツに関する市民アンケート調査において、今後取り組みたい種目、今後可能であれば整備して欲しい施設として上位に挙げられた項目の内、室内トレーニング施設については、市スポーツセンターのトレーニング室における運動機器の充実に取り組むほか、フィットネスクラブ、スイミングクラブなどの民間スポーツ施設の誘致に取り組みます。

## (3) スポーツに取り組める身近な場所の整備

### <施策の方針>

健康づくりのためにウォーキング・ジョギング、健康体操などを住まい周辺の身近な場所で行う市民が増加しており、こうした取り組みを支援するために、ウォーキング・ジョギングコースの案内看板の整備、集会所・広場を活用したスポーツ機会の提供、公園・広場の安全管理の充実に取り組みます。

### <具体的施策>

項目	事業内容
ウォーキング・ジョギングコース案内看板の整備	市民のウォーキング・ジョギングを促進するため、主要なコースの案内看板の整備等に取り組みます。
集会所・広場などの活用	高齢者などが身近な場所で健康づくりができるように、スポーツ推進委員、運動普及推進員などと連携して、身近な集会所・広場を活用したスポーツ機会の提供に取り組みます。
公園・広場の安全管理の充実	身近な公園・広場で親子が安心して遊べるように、遊具の定期点検など安全管理の充実に取り組みます。

## 5 スポーツを通じたまちづくりの推進

### (1) スポーツイベントの充実

#### <施策の方針>

「ヒロシマMIKANマラソン大会」及び「江田島市かきカキマラソン大会」については、広域から多くの参加者を集め、本市の風物詩となっており、一層の魅力の向上に取り組みます。

#### <具体的施策>

項目	事業内容
既存イベントの充実	「ヒロシマMIKANマラソン大会」、「江田島市かきカキマラソン大会」の魅力の向上を図るため、沿道環境の美化、市民の応援、もてなしの充実などに取り組みます。 また、民間のノウハウを幅広く活用するため、イベントは実行委員会による開催とし、市はイベントのPR及び補助などの支援を行います。



### (2) スポーツ大会参加者等の市内観光の促進

#### <施策の方針>

スポーツ大会参加者などの市内観光を促進し、地域の活性化に結びつけます。

#### <具体的施策>

項目	事業内容
市内観光の促進	スポーツ大会参加者及び関係者に対して江田島市の魅力を紹介し、大会後の市内観光や再訪に結びつけます。
関係団体との連携	行政の各部門（教育委員会、企画、産業部門）と観光協会、商工会などが連携して、スポーツと観光が融合した地域の活性化に取り組みます。

### 第3章 計画の推進方策

本計画で掲げた施策をより有効なものにするためには、行政はもとより、市民、スポーツ団体、コミュニティ組織などがそれぞれの役割を担うとともに、緊密な連携と協力のもとに取り組む必要があります。

#### 1 情報提供・相談助言の充実

##### (1) 情報提供の推進

市民のスポーツへの気運を高めるために、市とスポーツ団体が連携してスポーツ情報の発信に取り組めます。

市では、広報及びホームページ、パンフレットの作成等を通じてスポーツ団体のPRを推進するほか、様々なメディアへの情報発信に努めます。さらに、スポーツ団体相互の連携による総合的なスポーツ情報の発信体制づくりに係る取り組みを支援します。

##### (2) 相談助言の充実

スポーツの重要性について市民に対する意識啓発を推進するとともに、スポーツ団体、スポーツ推進委員、運動普及推進員などの連携によるスポーツに関する総合相談窓口の設置に係る取り組みを支援します。

#### 2 計画推進体制の充実

##### (1) 市民・関係機関

###### ア 市民の理解と協力

市民一人ひとりがスポーツ振興を図る主体として、体力の向上、健康づくりに関心を持ち、スポーツを実践するように、市民の理解と協力を働きかけます。

###### イ 江田島市体育協会、江田島市スポーツ少年団、江田島eスポーツクラブとの連携

江田島市体育協会、江田島市スポーツ少年団、江田島eスポーツクラブなどと連携して、本市のジュニアスポーツ、競技スポーツ、生涯スポーツの推進に取り組めます。

###### ウ 地域団体との連携

自治会連合会、老人クラブ連合会、女性会連合会、まちづくり協議会などの地域団体と連携して、身近な地域での健康づくりや、地域の親睦と交流に資するスポーツイベントの開催に取り組めます。

###### エ 学校・家庭・地域の連携

学校・家庭・地域が連携して、スポーツ少年団活動、学校部活動などの維持・活性化に取り組めます。

## (2) 行政における連携

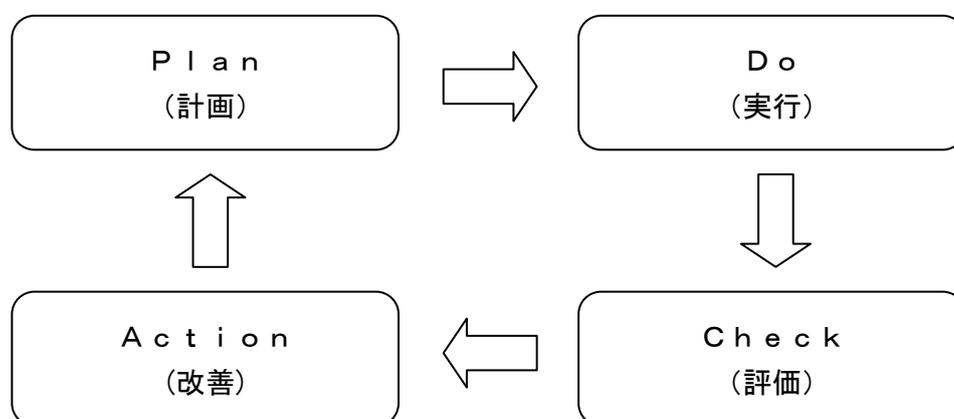
本計画の実現に向けては、福祉保健部門、企画部門及び産業部門などとの連携が不可欠であり、庁内における横断的な情報交換や事業実施に向けた協力体制を確立します。

## 3 計画のフォローアップ

本計画を確実に達成するために、計画・実行・評価・改善（PDCAサイクル）の考え方による施策・事業の推進と管理に努めます。

また、計画の進捗状況、国・県の動向、市民ニーズの変化などの環境の変化に対応して総合的な見直しを行います。

### <施策評価のステップ>



## 資料編

### 資料 1 スポーツ活動の現状と問題点

#### 1 学校体育、スポーツ団体の現状と問題点

##### (1) 中学校及び高等学校における部活動

本市には中学校が4校あり、次のような運動部が設置されています。各校ともに部員数の関係で、個人参加が可能な種目を中心とした活動になっており、団体種目の部の設置を制限せざるを得ない状況になっています。

また、各種目の部員数の減少に伴い本市単独での大会開催が困難となり、現在は安芸郡と合同で地区大会を開催しています。

大柿高等学校の運動部は、平成27年度で4部あるほか、同好会が1部あります。部員数が少ないため、団体競技の硬式野球、バスケットボールは、他校と合同で練習試合及び公式大会に出場しています。また、平成28年度から新たにカヌー部とサッカー部が設置されます。

中学校の部活動の状況(平成28年1月末現在)

(単位：人)

種 目	江田島		能美		三高		大柿		合 計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
陸上競技	6	5	20	8	3	2	4	2	33	17
サッカー	18	-	23	1	-	-	-	-	41	1
軟式野球	-	-	-	-	-	-	14	1	14	1
バレーボール	-	15	-	16	-	-	-	12	-	43
バスケットボール	10	-	-	-	-	-	-	-	10	-
ソフトテニス	25	25	25	-	6	6	8	8	64	39
卓 球	9	6	3	21	-	-	-	-	12	27
柔 道	-	-	1	3	-	-	-	-	1	3
剣 道	-	-	-	-	4	3	-	-	4	3
合 計	68	51	72	49	13	11	26	23	179	134

大柿高等学校の部活動の状況(平成28年1月末現在)

(単位：人)

種 目	男子	女子	合計	備 考
硬式野球	5	1	6	・女子はマネージャー ・音戸高等学校と合同で試合に出場
バスケットボール	3	1	4	・音戸高等学校、呉青山高等学校と合同で試合に出場
陸上	1	0	1	
テニス	5	2	7	
バドミントン(同好会)	2	3	5	
合 計	16	7	23	

## (2) スポーツ団体

### ア 江田島市スポーツ少年団

江田島市スポーツ少年団の団体数は平成27年度で13団体になっており、平成21年度と比べて1団体減少しています。その内訳は、ソフトボール、バレーボール、バドミンントンの団体が減少した一方で、軟式野球、バスケットボールの団体が増えています。

江田島市スポーツ少年団の会員数は平成27年度で255人になっており、平成21年度と比べて41人増加しています。児童・生徒数が減少している中で、団員数は増加している状況にあり、団体別にみると、増加している団体が10団体、減少している団体が6団体です。

#### 江田島市スポーツ少年団の団体数、会員数の推移

区 分	平成21年度	平成27年度	増 減	増減率
団体数(団体)	14	13	-1	-7.1%
会員数(人)	214	255	41	19.2%

#### 江田島市スポーツ少年団の活動状況（平成27年4月1日現在）

種目	団体名	会員数 (人)	対象	活動場所
空手道	空手道	20	小学生	市武道館
剣道	江田島市体育協会能美剣道部	6	小学生	市スポーツセンター
サッカー	古鷹	65	小中学生	江田島小学校
柔道	江田島市柔道連盟	16	小学生	市スポーツセンター
少林寺	江田島少林寺拳法	17	小学生	江田島小学校・市武道館
ソフトボール	古鷹ソフトボール	24	小学生	江田島グランド
バレーボール	かのかわフラワーズ	16	小学生	鹿川小学校
	高田JVC	18	小学生	市スポーツセンター 高田体育館
	大古JVC	10	小学生	大古小学校
	大柿クラブ	12	小中学生	大柿中学校
陸上競技	大柿陸上クラブ	11	小中高生	市総合運動公園
軟式野球	飛渡瀬バッファロージュニア	17	小学生	市総合運動公園
バスケットボール	C I S Eバスケットボール	23	小中高生	市スポーツセンター，能美中学校

## (参考) 団体別の会員数の推移

(単位：人，%)

団 体	平成 21 年度	平成 27 年度	増減数	増減率
空手道	12	20	8	66.7
江田島市体育協会能美剣道部	5	6	1	20.0
古鷹	38	65	27	71.1
江田島市柔道連盟	18	16	-2	-11.1
江田島少林寺拳法	13	17	4	30.8
古鷹ソフトボール	11	24	13	118.2
かのかわフラワーズ	13	16	3	23.1
高田 J V C	14	18	4	28.6
大古 J V C	15	10	-5	-33.3
大柿クラブ	8	12	4	50.0
大柿陸上クラブ	13	11	-2	-15.4
飛渡瀬バッファロージュニア	平成 26 年度 加入	17	17	-
C I S E バスケットボール	平成 27 年度 加入	23	23	-
JVC 安芸のうみ	22	平成 27 年度 脱退	-22	-
江田島市クラブソフトボール	15	平成 27 年度 脱退	-15	-
バドミントンクラブ沖美ジュニア	17	平成 22 年度 脱退	-17	-
合 計	214	255	41	19.2

## イ 江田島市体育協会へ加盟している団体の状況

江田島市体育協会の専門部数は平成27年度で18部になっており、平成21年度に比べて1団体減少しており、江田島市ヨット連盟が脱退しています。

江田島市体育協会に加盟している団体の会員数は平成27年度で1,536人になっており、平成21年度に比べて457人減少（減少率22.9%）しています。江田島市陸上競技協会、江田島市ビーチボールバレー連盟、江田島市空手道部の3団体は会員数が増加していますが、その他の14団体は減少しており、江田島市バドミントン部、江田島市テニス協会、江田島市ソフトテニス部、江田島市ソフトバレーボール競技協会の4団体は減少率が5割以上になっています。

江田島市体育協会加盟団体（平成27年4月1日現在）

（単位：人，％）

団 体	平成21年度	平成27年度	増 減	減少率
江田島市軟式野球連盟	245	181	-64	-26.1
江田島市バレーボール協会	158	143	-15	-9.5
江田島市ソフトボール協会	383	226	-157	-41.0
江田島市ビーチボールバレー連盟	275	295	20	7.3
江田島市ソフトバレーボール競技協会	30	10	-20	-66.7
江田島市卓球協会	45	40	-5	-11.1
江田島市ファミリーバドミントン部	18	10	-8	-44.4
江田島市バドミントン部	72	13	-59	-81.9
江田島市グラウンド・ゴルフ協会	170	153	-17	-10.0
江田島市ソフトテニス部	108	34	-74	-68.5
江田島市テニス協会	92	25	-67	-72.8
江田島市剣道部	104	55	-49	-47.1
江田島市柔道連盟	50	30	-20	-40.0
江田島市少林寺拳法部	48	38	-10	-20.8
江田島市空手道部	15	27	12	80.0
江田島市陸上競技協会	118	200	82	69.5
江田島市カヌー部	42	36	-6	-14.3
江田島市地域スポーツ振興部	20	20	0	0.0
合 計	1,993	1,536	-457	-22.9

注：資料は、江田島市体育協会。

## ウ 江田島eスポーツクラブ

江田島eスポーツクラブは、公共スポーツ施設を拠点に会員の会費によって運営され、子どもから高齢者まで多世代の市民がスポーツを気軽に楽しむことができる「総合型地域スポーツクラブ」で、市スポーツセンターを拠点に活動しています。

平成27年の会員数は200人で、その推移をみると減少傾向にあります。

また、平成27年度は定期教室を10種目開催しています。

### 江田島eスポーツクラブの会員数の推移 (単位：人)

区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
男性	142	147	115	111	97	97
女性	82	118	122	112	106	103
合 計	224	265	237	223	203	200

注：資料は、江田島eスポーツクラブ。(各年4月1日)

### 江田島eスポーツクラブの活動状況 (平成27年4月1日現在)

種 目	活動日	活動時間帯			活動場所
		午前	午後	夜間	
エアロビクス	週1回(土)	○			市スポーツセンター
陸上競技	週2回(火, 金)			○	市総合運動公園
ミニテニス	週1回(火)			○	切串体育館
	週2回(木, 土)		○		市スポーツセンター
ソフトボール	毎月2回(土) (第1, 第3)	○			大柿高校
卓球	週1回(金)			○	大柿公民館
	月2回(土) (第1, 第3)		○		大柿公民館
	週1回(土)			○	市スポーツセンター
ラージボール卓球	週2回(火, 金)			○	秋月体育館
ファミリーバドミントン	週1回(月)		○		市スポーツセンター
	週1回(水)		○		大柿公民館
	週1回(木)			○	江田島中学校体育館
バスケットボール	週2回(火, 金)			○	市スポーツセンター
ビーチボールバレー	週2回(月, 金)		○		市スポーツセンター
バドミントン	週1回(土)		○		市スポーツセンター

注：資料は、江田島eスポーツクラブ。

### (3) スポーツ指導者等の状況

#### ア スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、本市スポーツの振興を図るため、ニュースポーツ等の紹介及び普及、スポーツイベントへの協力等の活動を行っており、平成27年度は、教育委員会が24人に委嘱しています。

また、スポーツ推進委員は、スポーツ推進委員協議会を組織し、スポーツ推進委員相互の連携を強化するとともに、研修会を開催し、技術力の向上を図っています。

主な活動としては、ニュースポーツの研修会への参加、市内でのニュースポーツの普及活動、スポーツイベントへの協力、江田島小学校のクラブ活動への指導者派遣（ミニテニス、年6回）等です。

#### イ 運動普及推進員

運動普及推進員は、生活習慣病の発症や重症化による生活機能の低下を防ぐため、市民に自分の体力に応じた運動を普及し、健康づくりの推進を図ることを目的として活動しています。

平成27年度の運動普及推進員数は約160人で、年3回の研修会と年9回のウォーキング大会の開催、スポーツイベントにおける障害者の伴走協力等の活動を行っています。

#### ウ スポーツ団体の指導者等

スポーツ活動を推進する上で、指導者、審判員の確保が重要ですが、学校体育、スポーツ団体において、こうした人材の養成、確保が難しくなってきています。

## 2 公共スポーツ施設等の現況と利用状況

### (1) 公共スポーツ施設等の現況

市内の公共スポーツ施設は16施設あり、公園・グラウンドとしては総合運動公園1施設、運動公園1施設、公園2施設、グラウンド1施設です。体育館としては市スポーツセンター、市武道館があるほか、閉校後の小中学校を活用した体育館7施設、プール2施設があります。

また、市内には、小学校7校、中学校4校、高等学校1校があり、体育館やグラウンドを市民に開放しています。

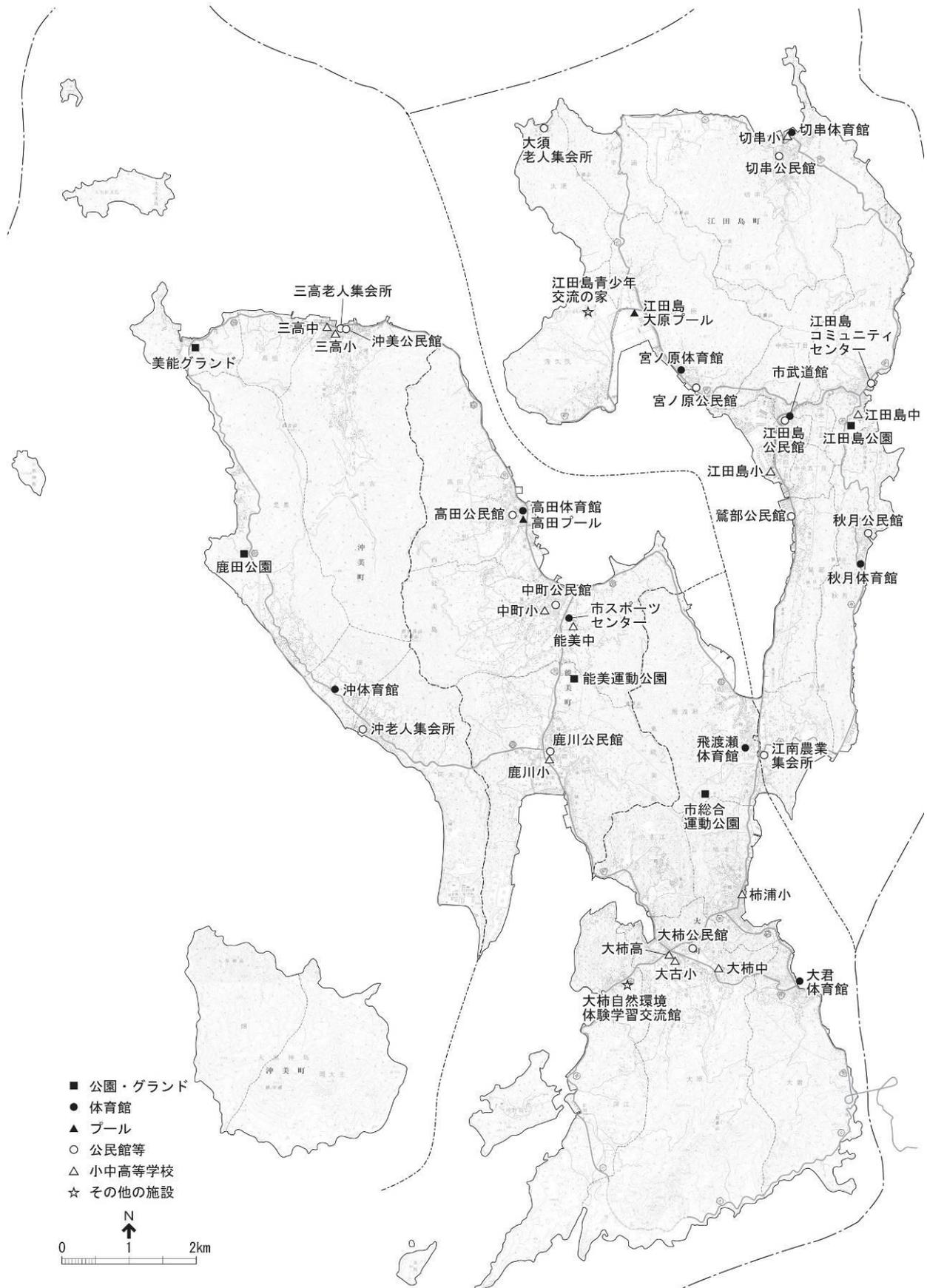
さらに、公民館・集会所等を活用してインドアスポーツが行われています。

その他に、江田島青少年交流の家、大柿自然環境体験学習交流館の中にスポーツ施設があります。

#### スポーツ施設の状況

区分	施設名	整備年次	施設内容	
公共スポーツ施設	公園・グラウンド	市総合運動公園	平成7年	多目的広場・テニスコート・ゲートボール場
		能美運動公園	昭和58年	グラウンド・テニスコート
		江田島公園	昭和53年	グラウンド
		鹿田公園	昭和63年	多目的広場・テニスコート・ゲートボール場
		美能グラウンド	昭和23年	グラウンド
	体育館	市スポーツセンター	平成6年	アリーナ・トレーニングルーム・柔道場・会議室・ミーティング室・シャワー室
		市武道館	平成9年	剣道場・柔道場
		切串体育館	昭和47年	アリーナ
		宮ノ原体育館	昭和47年	アリーナ
		秋月体育館	昭和60年	アリーナ
		沖体育館	昭和62年	アリーナ
		高田体育館	平成14年	アリーナ
		大君体育館	昭和63年	アリーナ
		飛渡瀬体育館	平成元年	アリーナ
	プール	江田島大原プール	昭和57年	25m 6コース (325㎡), 幼児用 (38㎡)
		高田プール	平成元年	25m 6コース (275㎡), サブプール (60㎡)
その他	江田島青少年交流の家	昭和42年	グラウンド・野球場・テニスコート・体育館・武道館	
	大柿自然環境体験学習交流館体育館	昭和50年	アリーナ	

スポーツ活動が行われている施設の分布（平成28年4月1日現在）



## (2) 公共スポーツ施設等の利用状況

### ア 公共スポーツ施設

公共スポーツ施設の平成26年度の年間利用者数をみると、市スポーツセンターが30,754人で最も多く、次いで市総合運動公園15,754人、江田島公園13,145人、能美運動公園10,085人等の順で、これら4施設が10,000人を超えています。

これら4施設の年間利用者数の推移をみると、市スポーツセンターは増加傾向、市総合運動公園及び江田島公園は減少傾向にあります。能美運動公園は、平成21年度から平成22年度にかけて大幅に減少した後、平成24年度以降は横ばいで推移しています。

#### 公共スポーツ施設の利用状況

(単位：人)

区分	名称	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
公園・グラウンド	市総合運動公園	23,463	18,425	15,578	16,939	17,631	15,754
	江田島公園	17,427	15,407	12,797	13,013	12,513	13,145
	能美運動公園	18,144	7,136	11,323	10,053	10,011	10,085
	鹿田公園	2,334	2,794	1,844	2,458	2,258	1,265
	美能グラウンド	1,411	2,795	2,895	3,235	3,956	3,246
体育館	市スポーツセンター	26,223	31,610	29,522	28,163	36,722	30,754
	市武道館	4,895	5,883	4,408	4,349	3,842	3,941
	切串体育館	3,234	4,067	2,484	1,743	1,453	1,857
	宮ノ原体育館	461	1,233	1,242	816	659	459
	秋月体育館	1,370	2,330	3,850	3,160	3,008	2,750
	高田体育館	-	-	-	-	3,792	1,958
	沖体育館	528	776	1,738	1,172	1,287	1,337
	大君体育館	2,336	3,068	1,987	1,140	2,035	400
飛渡瀬体育館	-	-	-	2,657	2,920	1,483	

## イ 公民館・集会施設におけるスポーツ活動の状況

健康づくり・スポーツの活動は、公共スポーツ施設、小中学校の体育館・グラウンドのほか、公民館・集会施設で行われており、次のようなグループが活動しています。

### 公民館・集会施設におけるスポーツ活動の状況(1) (平成28年4月1日現在)

施設名称	グループ名	活動内容	活動日	活動時間
切串公民館	健康体操切串教室	健康体操	毎週(木)	9:30～11:30
	ダンスウォーキング	簡単な手踊り	第1・3(金)	13:00～15:00
江田島公民館	ひまわりダンス	フラダンス	第2・4(水)	19:30～21:00
	健康づくり体操	健康づくり	毎週(金)	14:00～16:00
	練功保健体操	気孔術・健康体操	毎週(金)	19:00～21:00
	健康フラダンス	フラダンス	第2(土)	9:45～11:45
	太極拳玄武	太極拳	第2・4(水)	15:15～17:15
宮ノ原公民館	宮ノ原健康体操教室	健康体操	毎週(月)	9:00～11:00
秋月公民館	虹の会教室	生命の貯蓄体操	毎週(火)	13:30～15:30
	しらゆり教室	生命の貯蓄体操	毎週(火)	19:30～21:30
鷺部公民館	生命の貯蓄体操	生命の貯蓄体操	毎週(水)	14:00～16:00
	健康ボディメイク	ボディメイク	毎週(木)	10:30～11:30
	ストレッチ体操	ストレッチ・エアロビクス	毎週(水)	10:00～12:00
中町公民館	フラガール・アロハ(ケイキ)	フラダンス	第1・3(金)	19:00～20:00
	フラガール・アロハ	フラダンス	第1・3(金)	20:00～22:00
	親子で一緒にエアロビ・ヨガ教室	エアロビクス・ヨガ	第1・3(金)	10:30～11:30
	あじさい	健康体操	毎週(木)	13:30～15:30
	HIPHOPダンスサークル	ヒップホップダンス	毎週(水)	17:00～20:00
高田公民館	フラダンスハイビスカス	フラダンス	第2・4(木)	19:30～22:00
	のびのび体操	健康体操	毎週(月)	13:30～15:30
鹿川公民館	こでまりフラワーズ	フラダンス	第2・4(金)	20:00～22:00
	フラハート	フラダンス	第2・4(月)	19:30～21:30
沖美公民館	沖美社交ダンスクラブ	社交ダンス	第2・4(木)	19:00～21:00
大柿公民館	大柿教室	生命の貯蓄体操	毎週(火)	9:00～11:00
	健康体操	健康体操	第2・4(水)	13:30～14:30
	アロハ江田島	フラダンス	第2(木)	13:30～15:30
	大柿剣道教室	剣道	毎週(木)	19:00～20:00
	歩け、歩けクラブ	エアロビクス・ヨガ	第2・4(金)	10:00～11:30
	スポーツ吹矢	スポーツ吹矢	第1・3(水) 第2・4(土)	10:00～12:00
	江田島eスポーツクラブ	卓球	毎週(金) 第2・4(土)	19:45～21:45 14:00～16:00
	ファミリーバドミントン	毎週(水)	14:00～16:00	

公民館・集会施設におけるスポーツ活動の状況(2) (平成28年4月1日現在)

施設名称	グループ名	活動内容	活動日	活動時間
江田島コミュニティセンター	初歩の卓球教室	卓球	毎週(土)	10:00~12:00
	生命の貯蓄体操オレンジの会	健康体操	毎週(木)	13:30~15:30
	シニア卓球教室	ラージボール卓球	毎週(月・木)	18:30~21:30
	エアロダンス	エアロダンス	毎週(木)	19:30~20:30
大須老人集会所	活々ふれあいサロンめだかの学校	百歳体操	毎週(月)	13:00~15:00
江南農業集会所	生命の貯蓄体操(江南教室)	健康体操	毎週(火)	19:30~21:30
	生命の貯蓄体操(ふれあい教室)	健康体操	毎週(水)	13:30~15:30
沖老人集会所	健康体操岡大王道場	健康体操	毎週(月)	14:00~16:00

### 3 スポーツイベントの開催状況

本市を代表するスポーツイベントとしては、「ヒロシマMIKANマラソン大会」及び「江田島市かきカキマラソン大会」があります。毎年、短期間で定員に達する状況にありますが、運営上の制約で定員を拡大できない状況にあります。

その他に、「えたじまグリーンウォーキング」、「江田島市駅伝大会」が開催されています。さらに、平成15年から開催されている環境イベントの「江田島 SEA TO SUMMIT」があります。

#### スポーツイベントの開催状況(平成27年度)

名称	開催主体	開催時期	イベント内容
ヒロシマMIKANマラソン大会	実行委員会	10月下旬	・公認ハーフマラソン, 10km, 5 km, 3 km コース, 1 kmファンラン, 定員2,400人 ・開催場所: 大柿町, 能美町, 沖美町
江田島市かきカキマラソン大会	実行委員会	3月上旬	・10km, 5 km, 3 kmコース, 定員1,500人 ・開催場所: 沖美町
えたじまグリーンウォーキング	実行委員会	3月下旬	・定員600人 ・開催場所: 能美町
江田島市駅伝大会	実行委員会	2月下旬	・参加チーム: 約70チーム ・開催場所: 江田島町, 能美町, 大柿町
江田島 SEA TO SUMMIT	実行委員会	5月下旬	・カヤック, 自転車, 登山で海から山頂を目指し, 自然の循環を体感する環境イベント, 定員先着100組もしくは300人 ・開催場所: 能美町, 沖美町

## 資料2 スポーツに関する市民アンケート調査結果

### 1 調査について

#### (1) 平成27年度スポーツに関する市民アンケート調査結果

本アンケート調査（以下「平成27年度調査」という。）は、市民のスポーツ・運動の状況や課題、要望等を把握し、「江田島市スポーツ推進計画」を策定する上での参考とするために実施しました。概要は、次のとおりです。

調査対象者：江田島市在住の満18歳以上の市民1,487件  
 （送付数1,500件，内宛先人不明13件）

調査方法：郵送配布/郵送回収

調査期間：平成28年1月22日～平成28年2月10日

回収状況：回収数592件 回収率は39.8%（平成21年11月の調査回収率 34.8%）

#### (2) 平成27年度調査結果と他の調査結果の比較

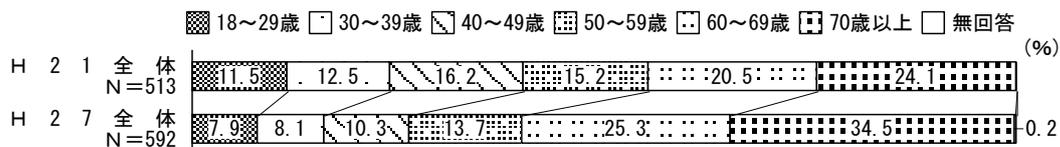
平成27年度調査結果のうち、一部の項目については本市が平成21年度に実施したスポーツに関する市民アンケート調査結果（以下「平成21年度調査」という。）、文部科学省が平成25年1月に実施した「体力・スポーツに関する世論調査」結果（以下「全国調査」という。）との比較を行いました。

### 2 調査結果の概要

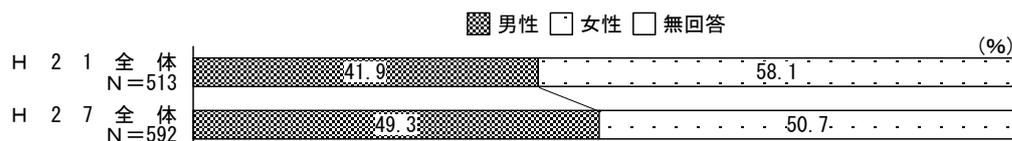
#### (1) 回答者自身について

回答者の属性は次のとおりです。平成21年度調査に比べて平成27年度調査では60歳以上の高齢者の割合が高くなっています。

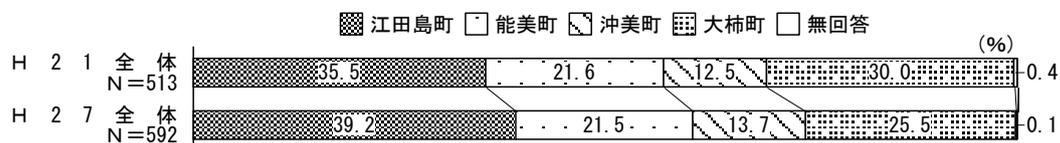
回答者の年齢



回答者の性別



回答者の住まい



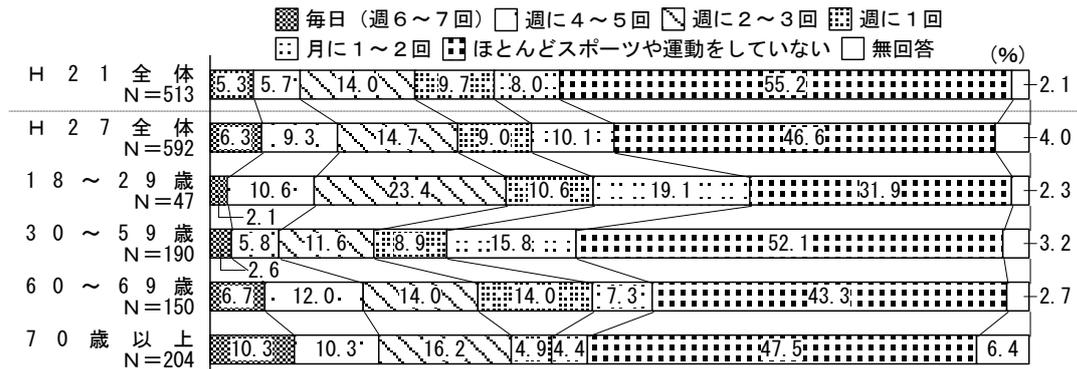
## (2) スポーツ・運動の状況について

### ア 運動の回数（過去1年間）

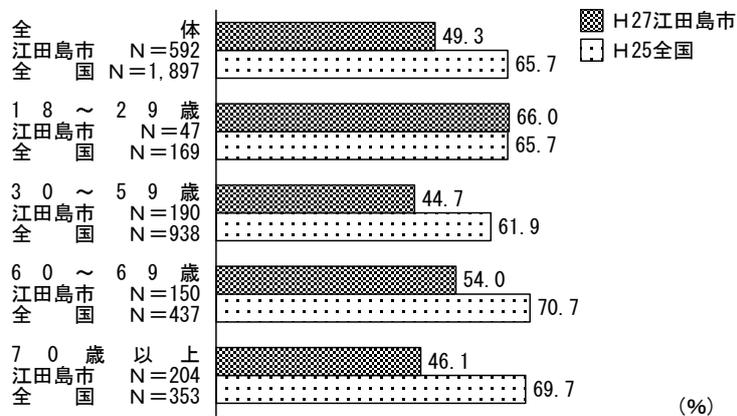
平成27年度調査の月に1回以上スポーツ・運動している人の割合は、約5割でした。平成21年度調査と比較すると、割合が高くなっています。

一方、全国調査と比較すると、割合が低くなっています。

スポーツ・運動の回数（過去1年間）



月1回以上スポーツ・運動している人の比較



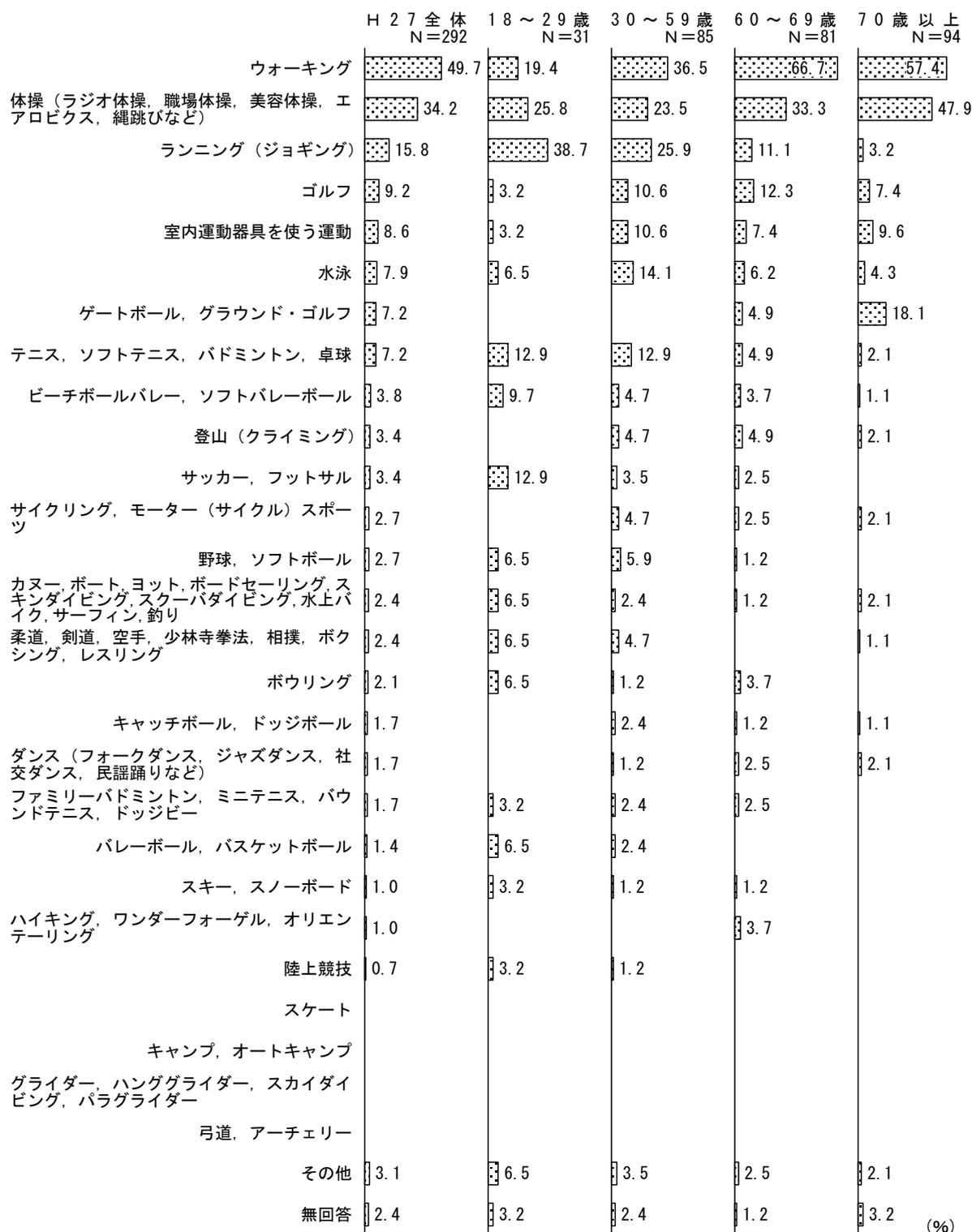
(参考) 週1回以上運動している人の割合 (単位: %)

区分	H27江田島市	H25全国	差
18~29歳	46.8	37.9	8.9
30~59歳	28.9	39.7	-10.8
60~69歳	46.7	57.7	-11.0
70歳以上	41.7	60.1	-18.4
合計	39.2	47.4	-8.2

## イ 行っているスポーツ・運動の種目

スポーツ・運動している人の行っているスポーツ・運動の種目は、「ウォーキング」、  
「体操（ラジオ体操，職場体操，美容体操，エアロビクス，縄跳びなど）」、「ランニング  
（ジョギング）」など，身近な場所で個人でも気軽に行える種目の割合が高くなっていま  
す。

行っているスポーツ・運動の種目（複数回答：3つ以内）

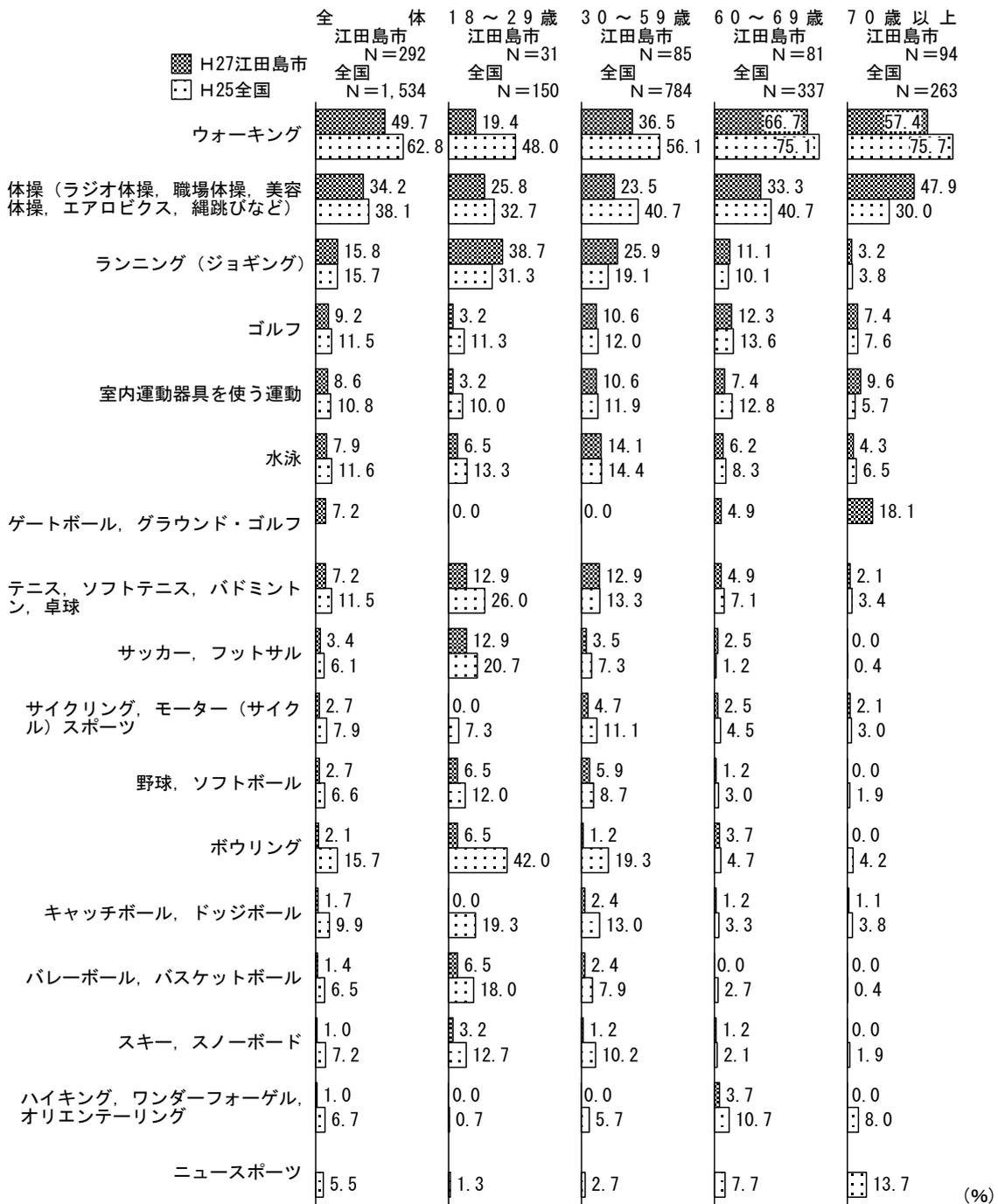


注：複数回答の項目のため，回答の%の合計が100%を超えている。

## ウ 行っているスポーツ・運動の種目の比較

江田島市、全国ともに「ウォーキング」、「体操（ラジオ体操、職場体操、美容体操、エアロビクス、縄跳びなど）」及び「ランニング（ジョギング）」の割合が高いですが、全国では、これらに加えて「ボウリング」、「水泳」、「ゴルフ」、「テニス、ソフトテニス、バドミントン、卓球」、「室内運動器具を使う運動」の割合が高く、種目の幅が広がっています。

### 行っているスポーツ・運動の種目の比較



注-1：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

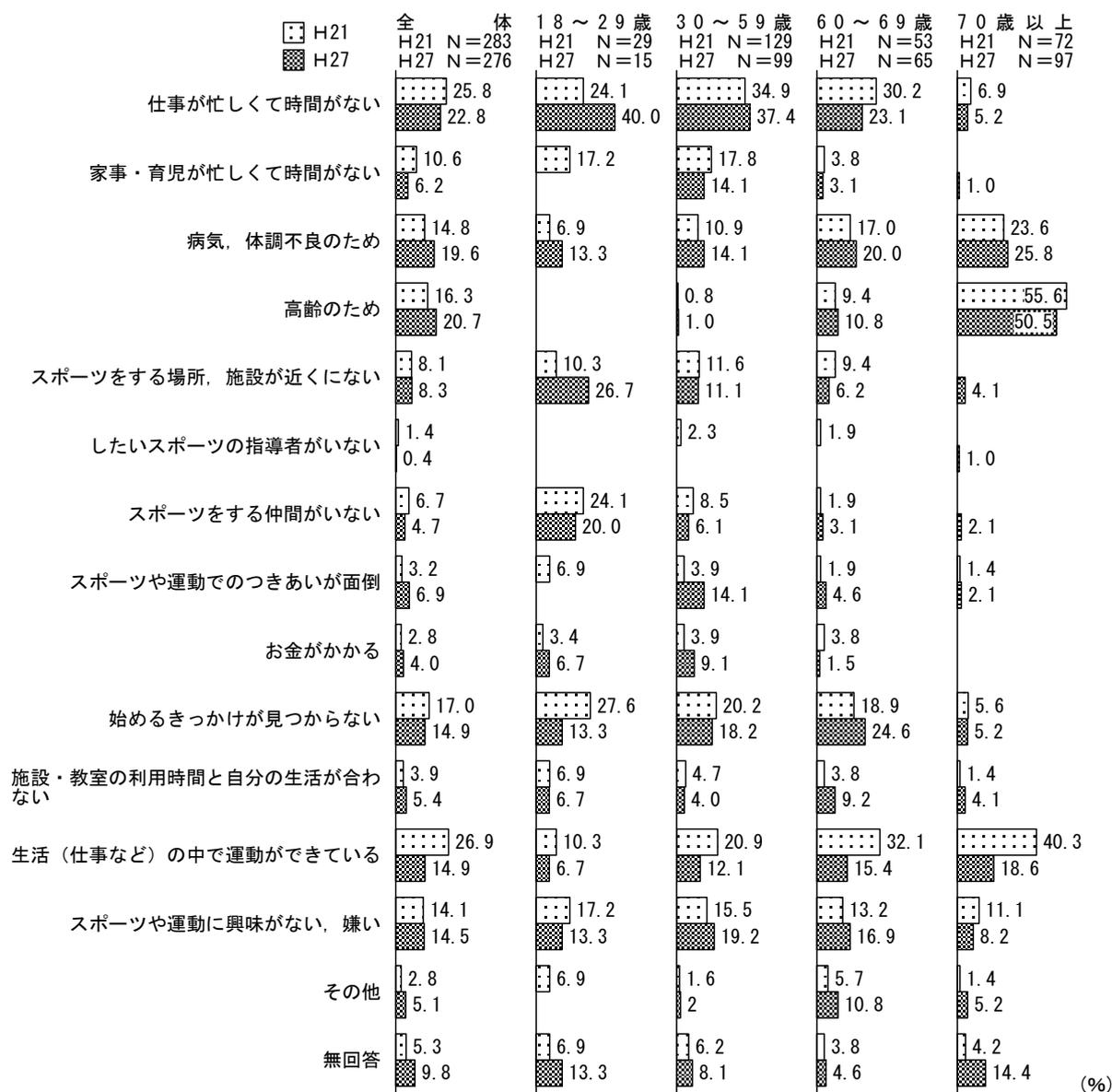
注-2：全国及び江田島市のアンケート調査のうち全体及び年齢別で10%以上の割合の種目のみ表示。

## エ スポーツ・運動していない理由

平成27年度調査のほとんどスポーツ・運動していない人の理由は、「仕事が忙しくて時間がない」の割合が最も高くなっています。

また、平成21年度調査も同様の結果です。

スポーツ・運動していない理由（複数回答：2つ以内）



注：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

オ 今後継続的に行いたいスポーツ・運動の種目

(ア) 月に1回以上スポーツ・運動している人

月に1回以上スポーツ・運動している人の今後継続的に行いたいスポーツ・運動の種目は、「ウォーキング」が5割で最も割合が高く、次いで「体操（ラジオ体操，職場体操，美容体操，エアロビクス，縄跳びなど）」、「水泳」，「ランニング（ジョギング）」，「室内運動器具を使う運動」等の順となっており，個人で行える種目の割合が高くなっています。

月に1回以上スポーツ・運動している人の今後継続的に行いたいスポーツ・運動の種目  
(複数回答：3つ以内)

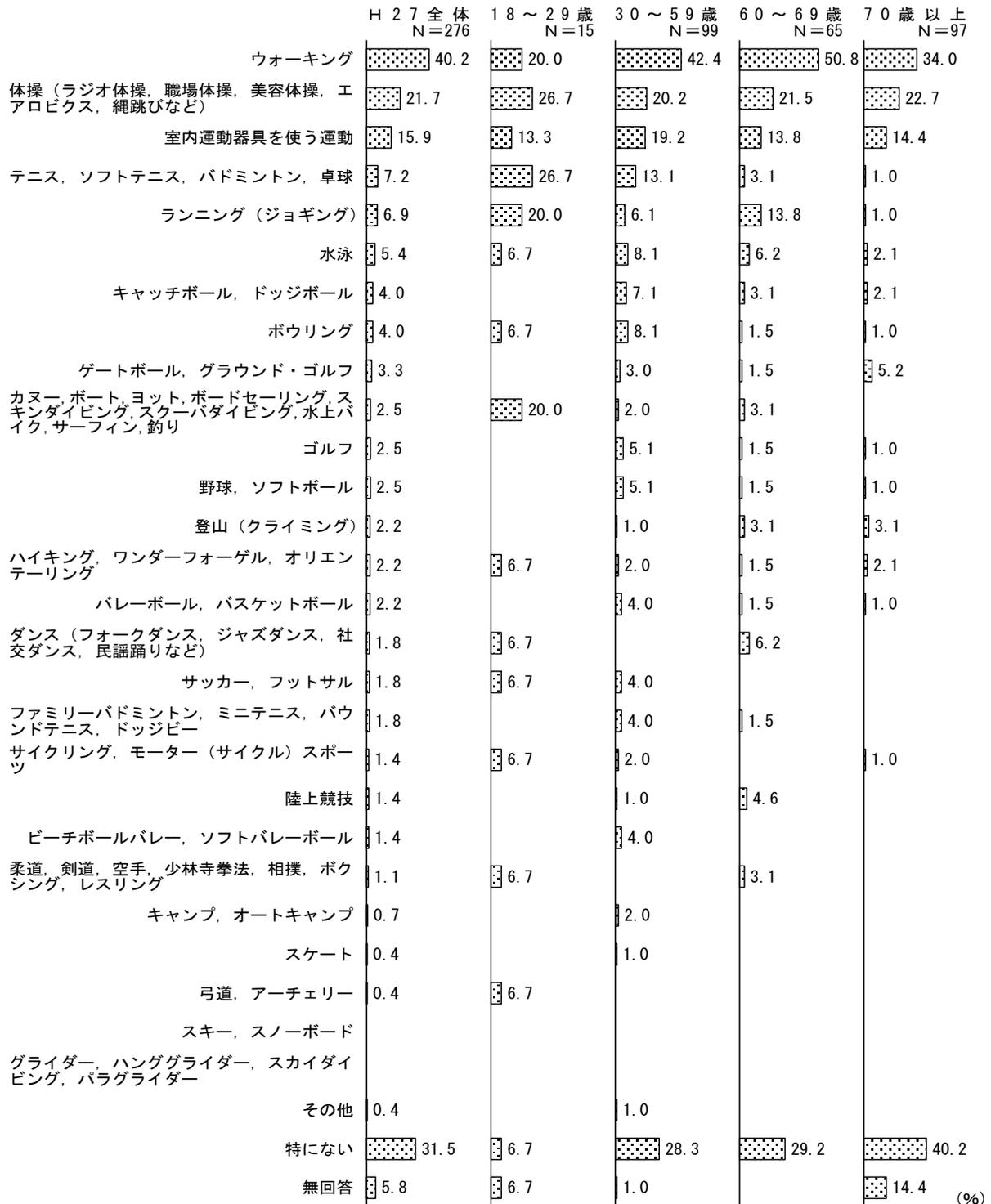
	H 27 全体 N=292	18～29歳 N=31	30～59歳 N=85	60～69歳 N=81	70歳以上 N=94
ウォーキング	50.0	16.1	36.5	69.1	57.4
体操（ラジオ体操，職場体操，美容体操，エアロビクス，縄跳びなど）	33.6	19.4	23.5	37.0	44.7
水泳	14.0	6.5	27.1	8.6	9.6
ランニング（ジョギング）	12.3	19.4	24.7	7.4	3.2
室内運動器具を使う運動	12.0	3.2	9.4	18.5	11.7
ゲートボール，グラウンド・ゴルフ	8.2			4.9	21.3
ゴルフ	8.2	3.2	12.9	8.6	5.3
テニス，ソフトテニス，バドミントン，卓球	8.2	16.1	12.9	6.2	3.2
登山（クライミング）	4.8		3.5	8.6	4.3
野球，ソフトボール	4.5	9.7	10.6	1.2	
ダンス（フォークダンス，ジャズダンス，社交ダンス，民謡踊りなど）	4.1		7.1	6.2	1.1
ボウリング	4.1	16.1	2.4	4.9	1.1
ビーチボールバレー，ソフトバレーボール	4.1	12.9	5.9	3.7	
サッカー，フットサル	3.1	3.2	7.1	1.2	
キャッチボール，ドッジボール	2.7	6.5	3.5	2.5	
カヌー，ボート，ヨット，ボードセーリング，スキューバダイビング，スキーバダイビング，水上バイク，サーフィン，釣り	2.7		2.4	6.2	1.1
ハイキング，ワンダーフォーゲル，オリエンテーリング	2.1		2.4	4.9	
サイクリング，モーター（サイクル）スポーツ	2.1	6.5	1.2	1.2	2.1
柔道，剣道，空手，少林寺拳法，相撲，ボクシング，レスリング	2.1		5.9		1.1
弓道，アーチェリー	1.7		4.7		1.1
ファミリーバドミントン，ミニテニス，パウンドテニス，ドッジビー	1.7		3.5	2.5	
バレーボール，バスケットボール	1.4	3.2	3.5		
スキー，スノーボード	1.0	6.5		1.2	
キャンプ，オートキャンプ	1.0	3.2	2.4		
陸上競技	0.3	3.2			
スケート					
グライダー，ハンググライダー，スカイダイビング，パラグライダー					
その他	2.1	6.5	3.5	1.2	
特にない	3.8	12.9	2.4	3.7	2.1
無回答	4.5	3.2	3.5	3.7	6.4

注：複数回答の項目のため，回答の%の合計が100%を超えている。

(イ) ほとんどスポーツ・運動していない人

ほとんどスポーツ・運動していない人の今後継続的にやりたいスポーツ・運動の種目は、「ウォーキング」が約4割で最も割合が高く、次いで「体操（ラジオ体操，職場体操，美容体操，エアロビクス，縄跳びなど）」、「室内運動器具を使う運動」等の順となっており，個人で行える種目の割合が高くなっています。

ほとんどスポーツ・運動していない人の今後継続的にやりたいスポーツ・運動の種目  
(複数回答：3つ以内)



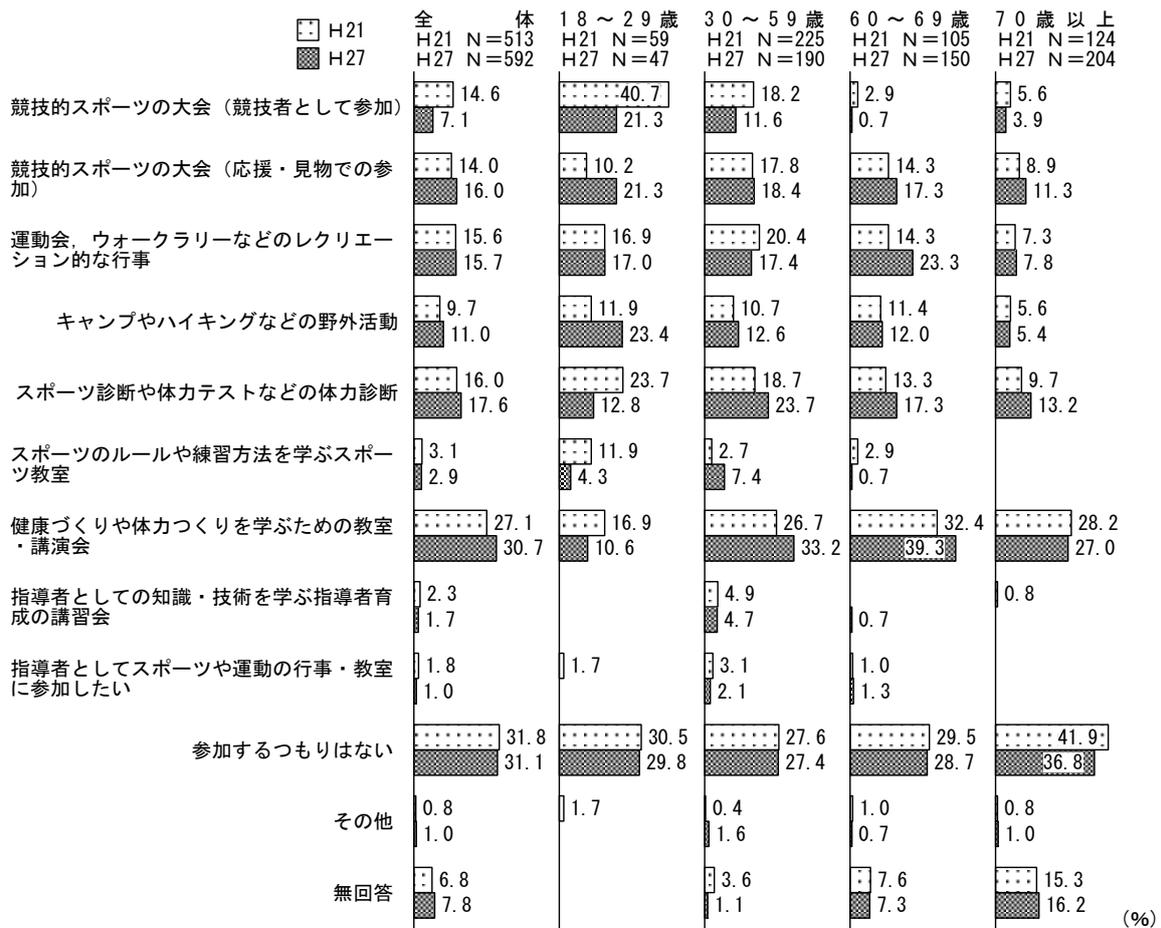
注：複数回答の項目のため，回答の%の合計が100%を超えている。

## カ 参加したいスポーツ・運動の行事・教室

平成27年度調査の今後、スポーツ・運動の行事・教室に参加したいと答えた人の割合(100%から「参加するつもりはない」と無回答の割合を引いた値)は、約6割です。

平成21年度調査に比べて「競技的スポーツの大会(競技者として参加)」の割合がかなり減っています。

参加したいスポーツ・運動の行事・教室(複数回答:いくつでも)



注:複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

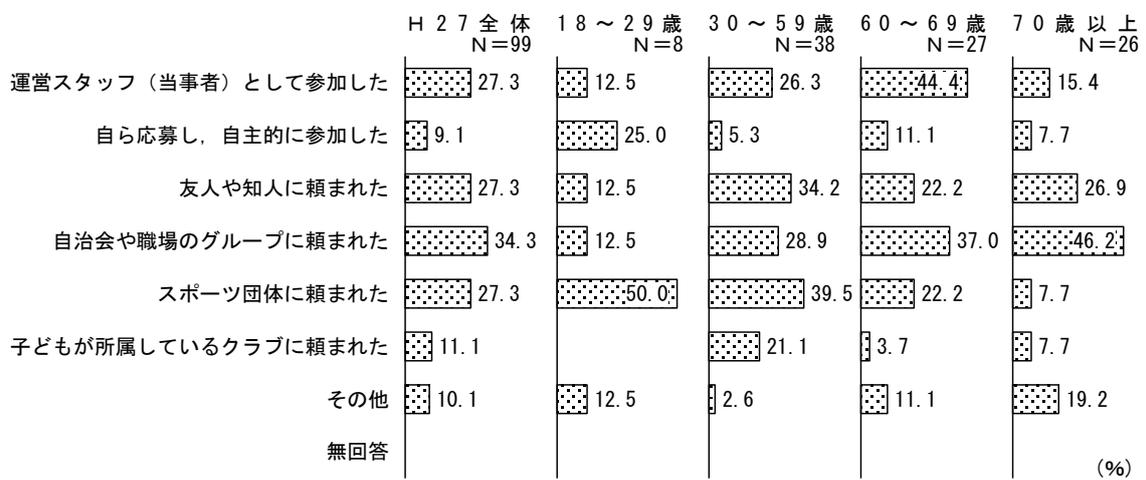
### (3) スポーツ・運動に関するボランティアへの参加について

#### ア スポーツ・運動に関するボランティアの経験と参加の経緯

スポーツ・運動に関するボランティアに参加したことが「ある」と答えた人は2割弱です。

スポーツ・運動に関するボランティアに参加したことが「ある」と答えた人のボランティアに参加した経緯は、「自治会や職場のグループに頼まれた」が最も割合が高く、次いで「運営スタッフ（当事者）として参加した」、「友人や知人に頼まれた」及び「スポーツ団体に頼まれた」等の順です。

#### スポーツ・運動に関するボランティアに参加した経緯（複数回答：いくつでも）

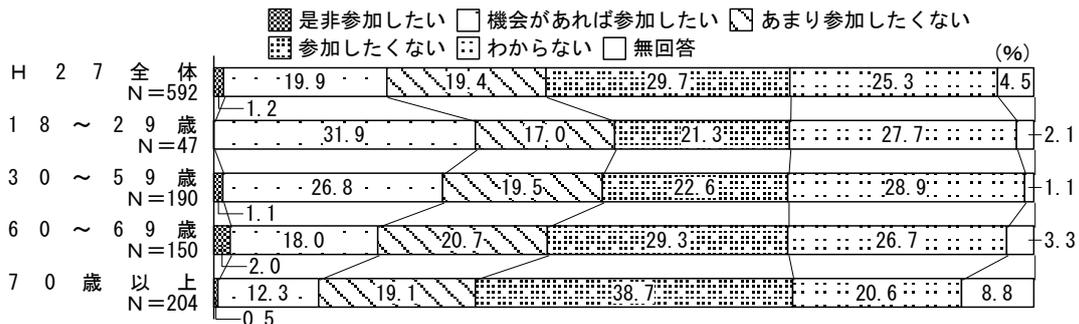


注：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

#### イ スポーツ・運動に関するボランティアへの今後の参加意向

スポーツ・運動に関するボランティアへの今後の参加意向のある人は約2割です。

#### スポーツ・運動に関するボランティアへの今後の参加意向



#### (4) 公共スポーツ施設の利用状況

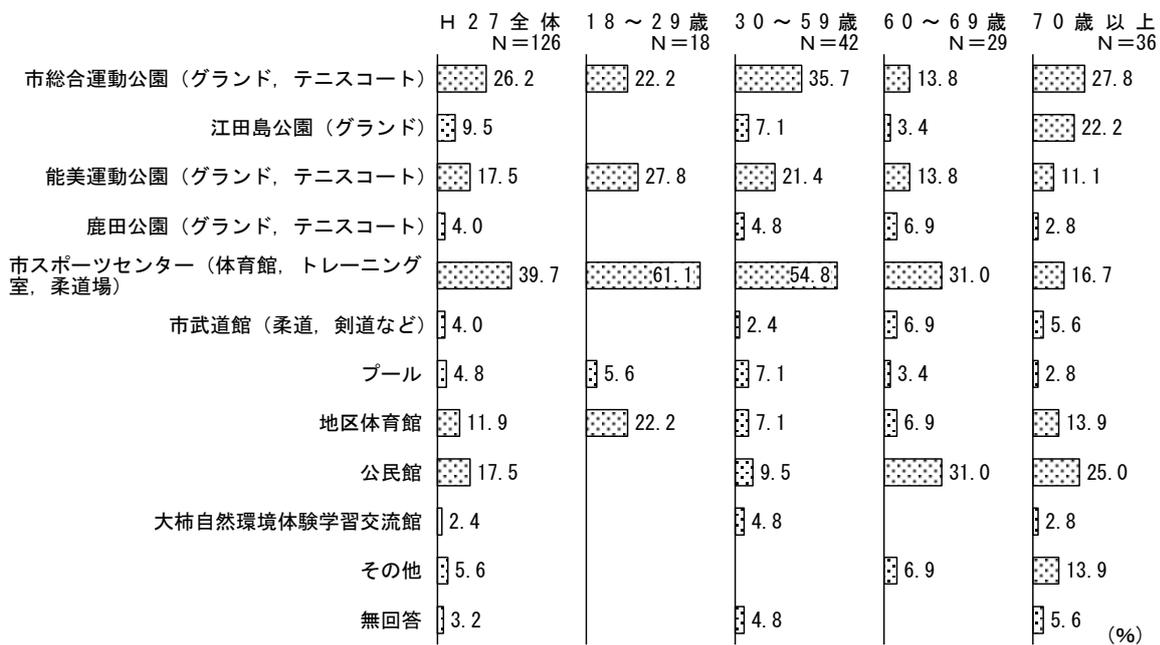
##### ア 公共スポーツ施設を利用した人の状況

公共スポーツ施設を「利用したことがある」と答えた人は約2割です。

##### (ア) 利用した公共スポーツ施設

利用した公共スポーツ施設は、「市スポーツセンター（体育館、トレーニング室、柔道場）」が約4割で最も割合が高く、次いで、「市総合運動公園（グラウンド、テニスコート）」、「能美運動公園（グラウンド、テニスコート）」及び「公民館」等の順です。

利用した公共スポーツ施設（複数回答：いくつでも）

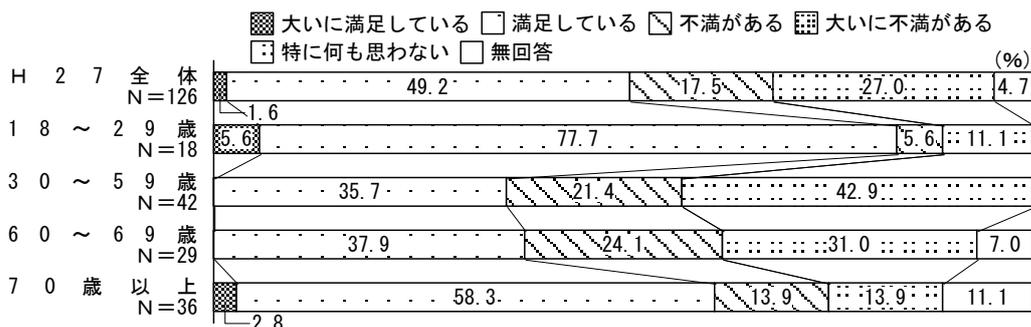


注：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

##### (イ) 公共スポーツ施設利用の満足度

公共スポーツ施設の利用に満足している人は約5割となっています。

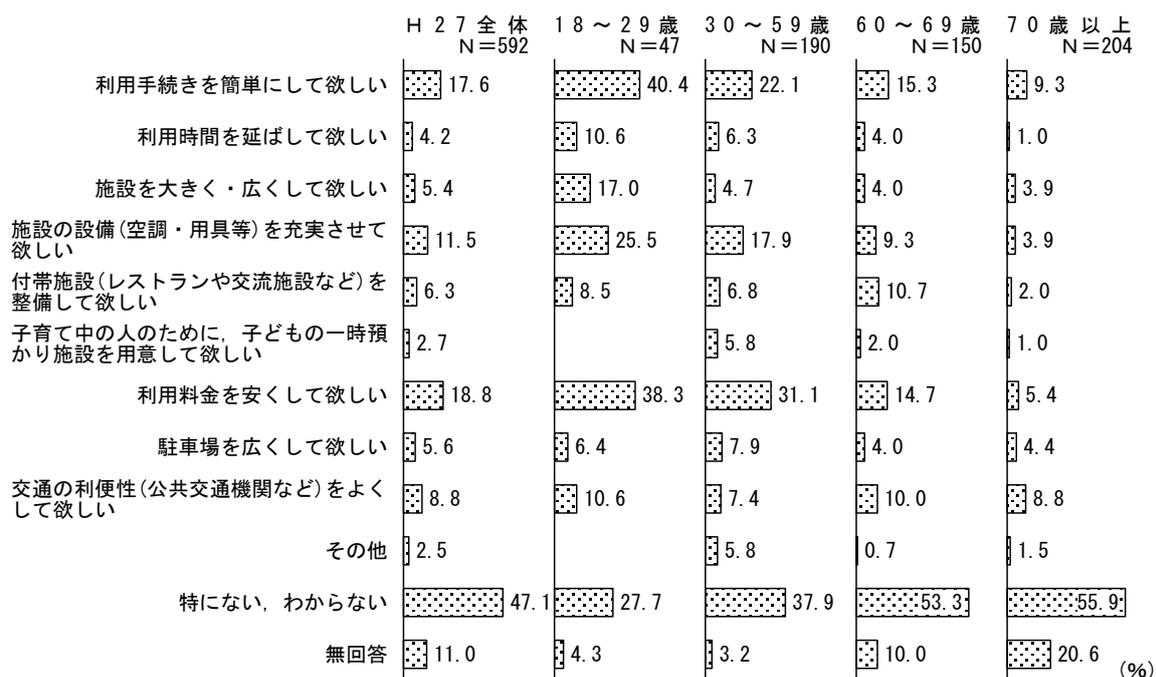
公共スポーツ施設利用の満足度



## イ 公共スポーツ施設を利用する上での要望

公共スポーツ施設を利用する上での要望がある人の割合（100%から「特にない、わからない」と無回答の割合を引いた値）は約4割です。公共スポーツ施設を利用する上での要望は、「利用料金を安くして欲しい」が最も割合が高く、次いで「利用手続きを簡単にしたい」、「施設の設備（空調・用具等）を充実させて欲しい」の順で、これら3項目の割合が高くなっています。

公共スポーツ施設を利用する上での要望（複数回答：3つ以内）

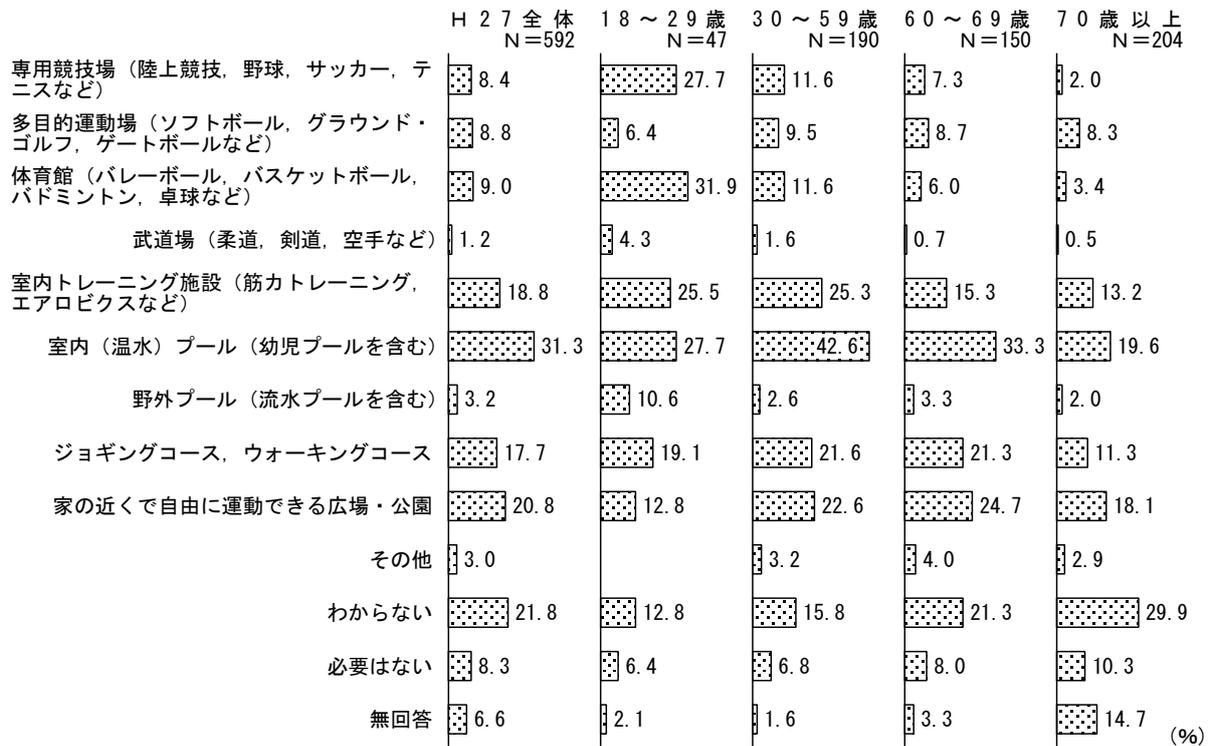


注：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

### ウ 今後可能であれば整備・充実して欲しい公共スポーツ施設

今後可能であれば整備・充実して欲しい公共スポーツ施設は、「室内（温水）プール（幼児プールを含む）」が約3割で最も割合が高く、次いで「家の近くで自由に運動できる広場・公園」、「室内トレーニング施設（筋力トレーニング、エアロビクスなど）」、「ジョギングコース、ウォーキングコース」等の順です。

#### 今後可能であれば整備・充実して欲しい公共スポーツ施設（複数回答：3つ以内）

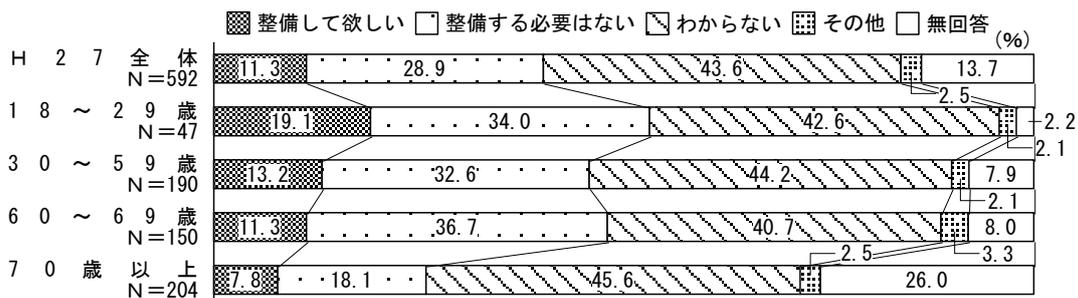


注：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

### エ 人工芝グラウンドの整備について

既存のグラウンドを改修して人工芝グラウンドを整備することについては、「わからない」が約4割で最も割合が高く、次いで「整備する必要はない」が3割弱であり、整備を要望する人は、約1割です。

#### 人工芝グラウンドの整備について

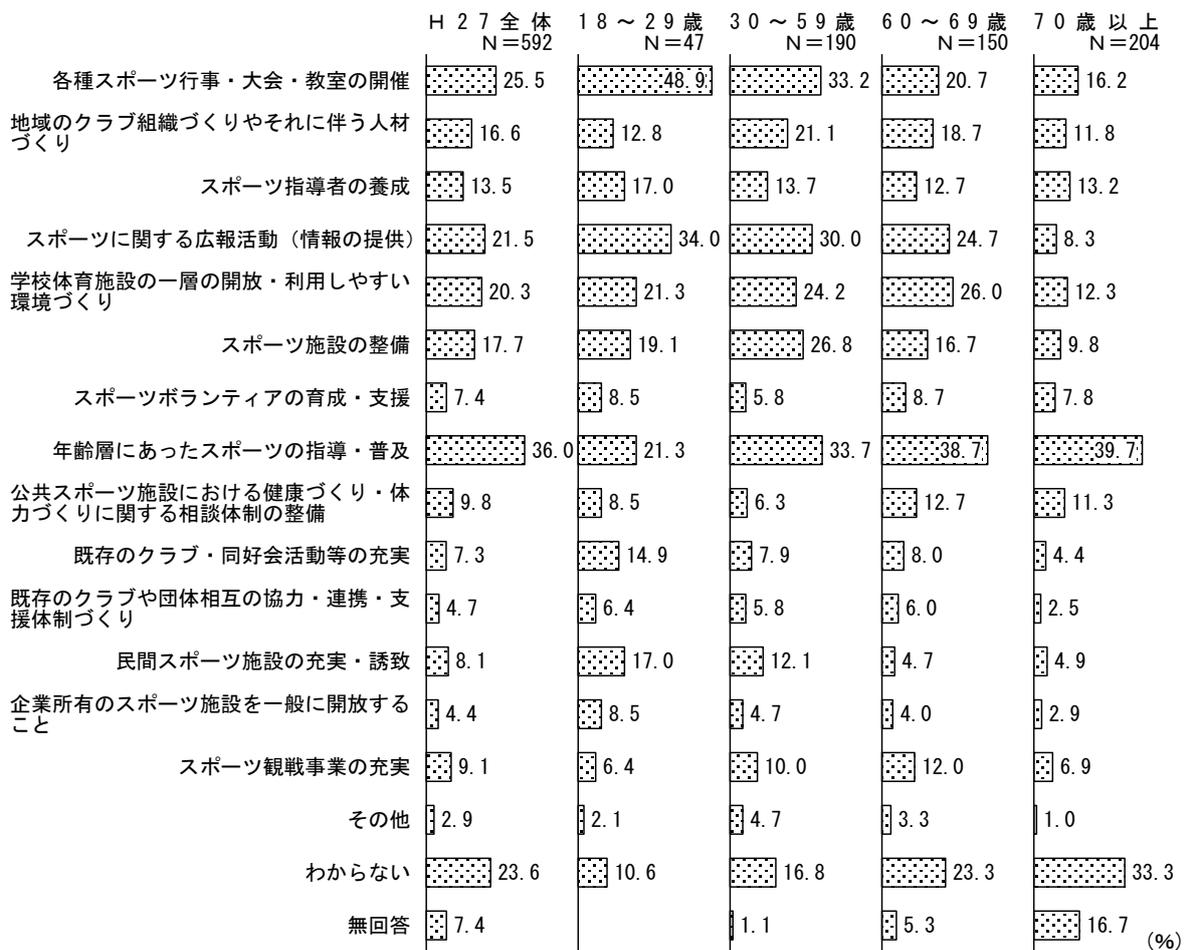


## (5) 今後のスポーツ・運動について

### ア スポーツ・運動を盛んにするために重要なこと

今後、スポーツ・運動を盛んにするために重要なことは、「年齢層にあったスポーツの指導・普及」の割合が最も高く、次いで「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」、「スポーツに関する広報活動（情報の提供）」、「学校体育施設の一層の開放・利用しやすい環境づくり」の順となっています。

### スポーツ・運動を盛んにするために重要なこと（複数回答：いくつでも）

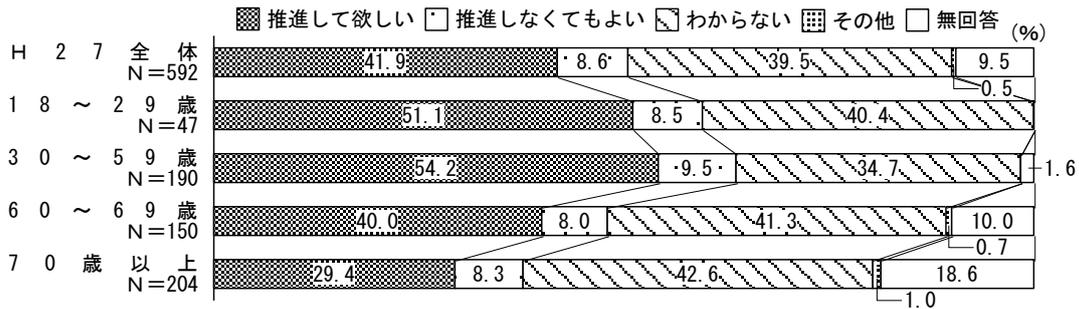


注：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

## イ プロ・社会人団体との交流による地域活性化について

プロ・社会人団体との交流による地域活性化については、「推進して欲しい」が約4割で最も割合が高く、「推進しなくてもよい」が1割弱でした。年齢別にみると「推進して欲しい」の割合が60歳未満では5割以上ですが、60～69歳は4割、70歳以上は約3割と低くなっています。

プロ・社会人団体との交流による地域活性化について

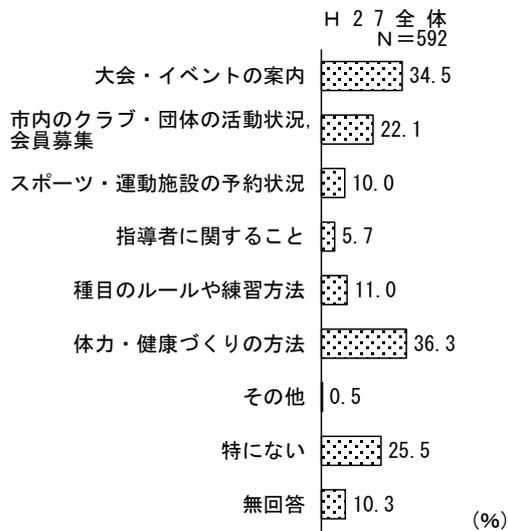


## ウ スポーツ・運動に関して欲しい情報と提供希望方法

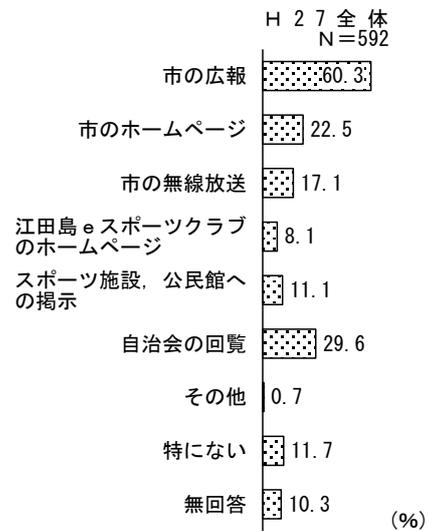
スポーツ・運動に関して欲しい情報は、「体力・健康づくりの方法」が最も割合が高く、次いで「大会・イベントの案内」、「市内のクラブ・団体の活動状況、会員募集」の順で、これら3項目の割合が高くなっています。

スポーツ・運動に関する情報の提供希望方法は、「市の広報」が約6割で最も割合が高く、次いで「自治会の回覧」、「市のホームページ」の順で、これら3項目の割合が高くなっています。

スポーツ・運動に関して欲しい情報 (複数回答: いくつでも)



スポーツ・運動に関する情報の提供希望方法 (複数回答: いくつでも)



注: 複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

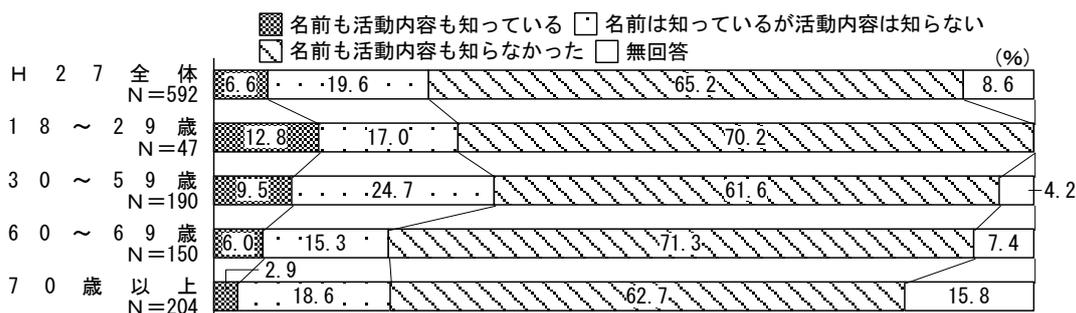
## (6) 総合型地域スポーツクラブについて

「総合型地域スポーツクラブ」は、公共スポーツ施設を拠点にクラブ会員の会費によって運営され、子どもから高齢者まで多世代の市民がスポーツを気軽に楽しむことができるスポーツクラブで、江田島市では「江田島eスポーツクラブ」が設立されており、市スポーツセンターを拠点に活動しています。

### ア 江田島eスポーツクラブの認知状況

3割弱の人が江田島eスポーツクラブの名前を知っている状況です。

江田島eスポーツクラブの認知状況

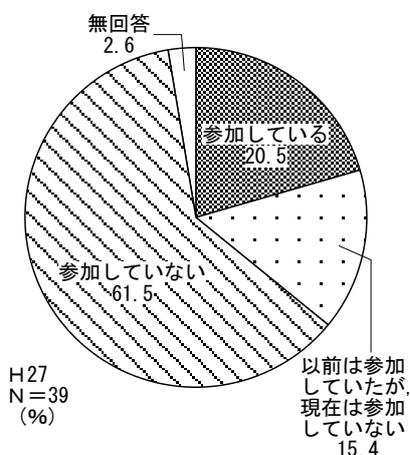


### イ 江田島eスポーツクラブへの参加状況と参加していない理由

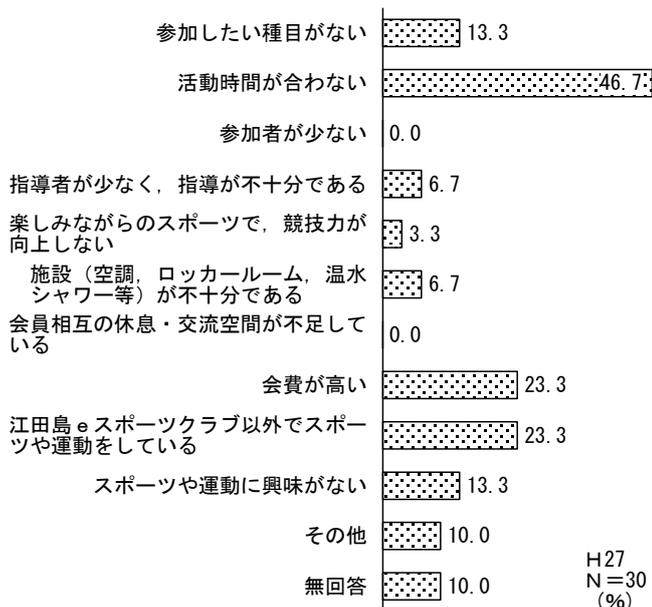
江田島eスポーツクラブについて「名前も活動内容も知っている」と答えた人の江田島eスポーツクラブへの参加状況は、「参加していない」が約6割で最も割合が高くなっています。

江田島eスポーツクラブの活動へ参加していない人の理由は、「活動時間が合わない」が5割弱で最も割合が高くなっています。

江田島eスポーツクラブへの参加状況



江田島eスポーツクラブの活動へ参加していない理由 (複数回答: いくつでも)

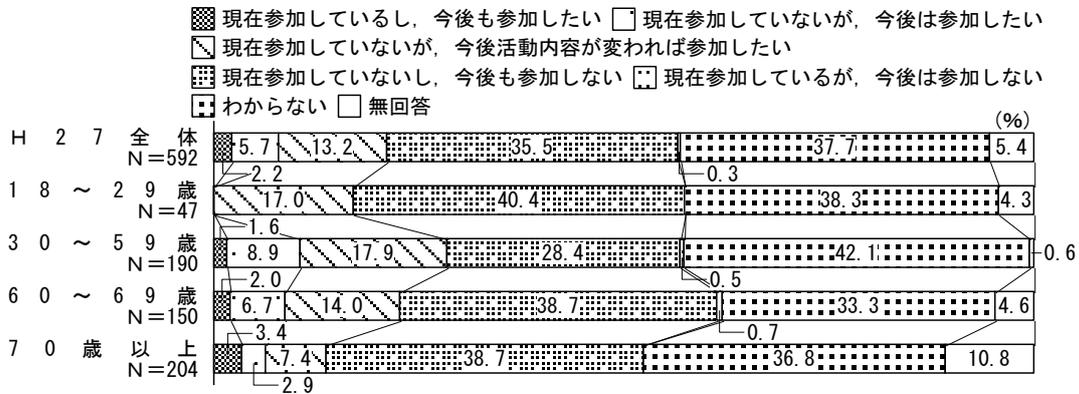


注：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

### ウ 江田島eスポーツクラブへの今後の参加意向

今後江田島eスポーツクラブへ参加する意向のある人は約2割です。

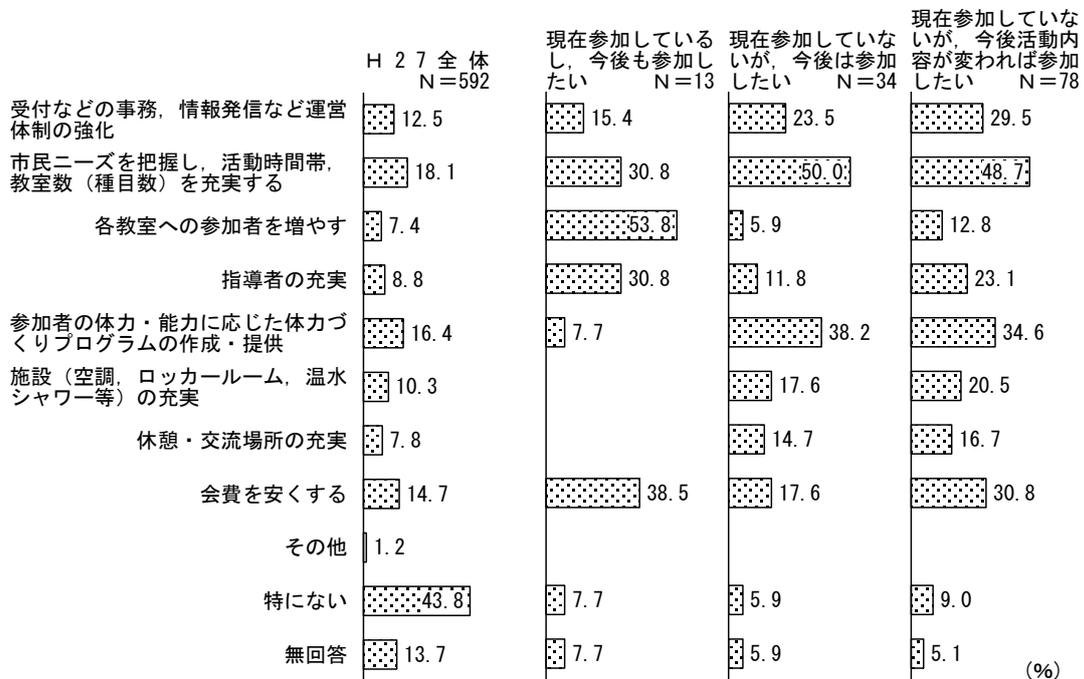
江田島eスポーツクラブへの今後の参加意向



### エ 江田島eスポーツクラブの運営への要望

江田島eスポーツクラブの運営への要望は、「市民ニーズを把握し、活動時間帯、教室数（種目数）を充実する」の割合が最も高くなっています。

江田島eスポーツクラブの運営への要望（複数回答：いくつでも）



注：複数回答の項目のため、回答の%の合計が100%を超えている。

## (7) 自由意見のまとめ

自由意見の記入件数は127件で、記入率は約2割でした。自由意見の内容を項目別に整理すると165件で、その主な内容は次のとおりです。

### ア スポーツ・運動を通じての地域づくりについて

- ・スポーツは人生を楽しくする。市民が健康寿命日本一になるように行政全体で取り組む。市民が自らできることに積極的に取り組むよう働きかけて欲しい。
- ・幼い頃からスポーツになじみ、成長するにつれて特技を磨き、レベルアップして人間形成にも役立てたい。老いては認知症予防の一助にもなればと思う。
- ・スポーツの振興を通じて人口増加、移住の促進を図って欲しい。

### イ スポーツ・運動教室の開催について

- ・30分～1時間くらい子どもを預け、子育て中のママがエクササイズやヨガなどで交流できる場が欲しい。
- ・子どものスポーツクラブを充実し、自分の好きなスポーツを選べるようにして欲しい。
- ・元気な高齢者の健康を維持できるイベントを開催して欲しい。
- ・家の近くで月1～2回の体を動かす運動教室があればと思う。
- ・江田島6山を活用し、山に関する教室やイベントを積極的に計画・実施してもらいたい。

### ウ スポーツ・運動に関する情報提供について

- ・市のホームページを充実し、それを市の広報で広めて欲しい。
- ・公園の情報（パンフレット）などがあれば良い。

### エ 公共スポーツ施設の利用について

- ・スポーツ施設を利用している人から使用料が高くなったと聞いた。健康づくりを推進するなら使用料を安くし、利用しやすくできないか。
- ・高齢になるとスポーツ施設まで行く交通手段がない。無料バスの運行など交通の便を良くして欲しい。

### オ 公共スポーツ施設の整備について

- ・市スポーツセンターのトレーニングルームをもっと充実して欲しい。
- ・市総合運動公園のテニスコートを整備（除草、白線の取り替え等）して欲しい。
- ・公園等に遊具が欲しい。
- ・江田島市に温水プールが欲しい。生活習慣病予防や腰痛、膝痛の人には水を使用した運動が良いと思う。
- ・車がないとできないというのではなく、どこでも気軽に運動できる場を整備して欲しい。
- ・サッカーグラウンドの人工芝化などスポーツに関する要望に積極的に関わって欲しい。

### カ 江田島eスポーツクラブについて

- ・江田島eスポーツクラブを知らない、活動内容がわからない。
- ・江田島eスポーツクラブの活動内容を周知させる必要がある。

### 3 アンケート調査結果からみた留意事項

#### (1) スポーツ・運動に対する関心の醸成

運動不足を感じている人は約8割ですが、月1回以上スポーツ・運動している人は約5割です。月1回以上スポーツ・運動した人の割合は、平成21年42.7%から平成27年49.3%と6.6ポイント上昇していますが、全国調査の割合（平成25年）は65.7%で全国平均を下回っています。

こうしたことから、スポーツ・運動の多様な役割について意識啓発を図り、スポーツ・運動への参加促進を図る必要があります。

#### (2) 公共スポーツ施設・学校体育施設の利用しやすさの向上

施設を利用する上での要望として、公共スポーツ施設では施設の利用料金を安くすること、利用手続きの簡素化、施設の設備（空調、用具等）の充実、学校体育施設では個人単位でも利用できるようにすること、利用手続きの簡素化、施設の設備（空調、用具等）の充実がそれぞれ上位に挙げられています。

こうしたことから、利用手続き簡素化、施設の設備（空調、用具等）の充実などにより、公共スポーツ施設・学校体育施設の利用の促進を図る必要があります。

#### (3) 市民ニーズに対応したスポーツ環境の充実

市民が行っているスポーツ・運動は、ウォーキング、体操、ランニングなど、健康づくりを目的として個人が気軽に身近な場所でできる種目の割合が高くなっています。

また、今後継続的に行いたいスポーツ・運動の種目は、月1回以上スポーツ・運動している人は、現在行っている運動の種目を継続する意向であるほか、水泳、室内運動器具を使う運動の割合が上昇しています。ほとんどスポーツ・運動していない人は、ウォーキング、体操、室内運動器具を使う運動の割合が高くなっています。

こうしたことから、現在行われているスポーツ・運動で割合の高いウォーキング、体操、ランニング、今後行いたいスポーツ・運動で割合が高くなっている水泳、室内運動器具を使う運動に係るスポーツ環境の充実を図る必要があります。

#### (4) スポーツ・運動に係る総合的な情報発信体制の確立

ほとんどスポーツ・運動していない人のスポーツ・運動していない理由は、60歳未満では「仕事が忙しくて時間がない」が4割前後です。その他に、18～29歳では「スポーツをする場所、施設が近くにない」、30～59歳では「始めるきっかけが見つからない」、60～69歳では「仕事が忙しくて時間がない」、「病気、体調不良のため」、「始めるきっかけが見つからない」が2割以上です。

こうした理由のうち、「スポーツをする場所、施設が近くにない」、「スポーツをする仲間がいない」、「始めるきっかけが見つからない」については、情報発信の充実等により解決を図る必要があります。また、スポーツ・運動を盛んにするために重要なことにおいて、「スポーツに関する広報活動（情報の提供）」が2割以上になっています。情報の提供希望方法としては「市の広報」、「市のホームページ」、「自治会の回覧」が上位に挙げられており、こうした方法を通じた情報発信を強化する必要があります。

#### (5) 江田島eスポーツクラブの活動の充実

江田島eスポーツクラブの名前を知っている人は約3割です。また、江田島eスポーツクラブの名前も活動内容も知っているとした人（全体の6.6%）のうち、活動に参加している人は約2割（全体の0.2%）とわずかです。しかし、現在、活動に参加している人も含めて今後江田島eスポーツクラブの活動に参加する意向のある人は約2割と潜在的な参加意向を持っている人は一定割合います。江田島eスポーツクラブの運営への要望において、活動時間帯・教室数（種目数）の充実、参加者の体力・能力に応じた体力づくりプログラムの作成・提供、運営体制の強化が上位に挙げられており、こうした点の充実を図り、会員数の増加、活動の活性化を図る必要があります。

#### (6) スポーツ振興体制の強化

スポーツ・運動を盛んにするために重要なこととして、「年齢層にあったスポーツの指導・普及」、「各種スポーツ行事・大会・教室の開催」が上位2項目に挙げられており、官民の連携によるスポーツの指導・普及体制の強化、スポーツ活動の推進が求められています。

## 資料3 学校体育，スポーツ団体調査結果

### 1 調査の概要

#### (1) 調査の目的

本調査は、「江田島市スポーツ推進計画」の策定にあたって、中学校・高等学校及び各種団体の現状と問題点，今後取り組みたいことなどを把握し，本計画策定の基礎資料とすることを目的に実施しました。

#### (2) ヒアリング

- ・調査団体：江田島中学校，能美中学校，三高中学校，大柿中学校，大柿高等学校，江田島市体育協会，江田島eスポーツクラブ，江田島市スポーツ少年団，江田島市スポーツ推進委員協議会，江田島市運動普及推進協議会
- ・調査期間：平成28年1月27日～2月5日
- ・設問項目：団体活動の現状と問題点，今後取り組みたいこと，他団体との連携，江田島市への要望

#### (3) アンケート

- ・アンケート送付団体：江田島市体育協会専門部：18団体  
江田島市スポーツ少年団：13団体
- ・アンケート回収団体：江田島市体育協会専門部：11団体  
江田島市スポーツ少年団：9団体
- ・回収率：64.5%
- ・調査方法：郵送配布，郵送回収
- ・調査期間：平成28年2月15日～3月10日
- ・設問項目：団体の概要，活動上の問題点，今後取り組みたいこと，江田島市のスポーツ活動を活性化させるために取り組んで欲しいこと（江田島市，江田島市体育協会），江田島eスポーツクラブと連携していることまたは活動に望むこと

## 2 調査結果

### (1) 中学校・高等学校

#### ア 中学校（4校）

##### (ア) 活動の現状と問題点

- ・生徒数が少なく、スポーツ種目を絞らざるを得ない。外部団体で活動している生徒もいる。
- ・競技力の向上を図るため、市内外の中学校と合同練習をしている。市内での合同練習は先生や保護者が送迎、市外における大会の際はスクールバス車両で送迎しているが、労力及び経費の負担が大きい。
- ・スポーツ経験のない顧問の場合は指導が難しく、市内の経験者に指導して欲しいと思っているが、人材の確保が難しい。

##### (イ) 江田島市への要望

- ・市内合同練習、市外で試合を行う際の交通手段に係る支援を強化してほしい。

#### イ 大柿高等学校

- ・クラブ活動の活性化を通じて生徒を確保するため、平成28年度からサッカー部とカヌー部を創設する。サッカー部とカヌー部の指導者は既に決まっている。
- ・サッカー部の練習場として、校内に天然芝グラウンドを整備する。

### (2) 江田島市体育協会

- は、アンケート調査で意見の多かったものです。

#### ア 江田島市体育協会会長ヒアリング結果

##### (ア) 活動の現状と問題点

- ・江田島市体育協会に加盟するメリットは、スポーツ大会の運営費補助程度である。新規団体加入の動機付けにならない。
- ・平成23年度から施設使用料（照明使用料を含む）が有料になったため、スポーツ団体の練習回数が減少している。

##### (イ) 今後取り組みたいこと

- ・スポーツ大会の開催補助だけでなく、補助内容を幅広くしたい。
- ・プロスポーツ選手、団体を招いて交流活動を今後も継続する。こうした活動を通じて江田島市体育協会に対する理解を促進したい。

#### (ウ) 江田島 e スポーツクラブとの連携

- ・江田島市体育協会の事務局を江田島 e スポーツクラブに委託しており，地域スポーツを推進する両輪として連携を一層強化したい。江田島 e スポーツクラブと江田島市体育協会を合わせた組織づくりを検討したい。

#### (エ) 江田島市への要望

- ・スポーツ振興の基礎になる学校スポーツの振興を強化して欲しい。
- ・プロスポーツ団体，選手を招く際に，市に交渉窓口になって欲しい。
- ・市の観光部門にスポーツを通じた活性化に関心を持って欲しい。
- ・江田島市体育協会の事務局体制の確立，江田島 e スポーツクラブと連携（統合を含む）した体制づくりを支援して欲しい。江田島 e スポーツクラブに市が支援員を配置し，運営を強化して欲しい。

### イ 江田島市体育協会専門部アンケート調査結果

#### (ア) 活動の現状と問題点

- 専門部の会員数が減少し，活動が停滞してきている。また，大会運営スタッフ（審判等）が減少し，大会の開催が困難になっている専門部もある。
- ・継続して活動する小中高生が減少するとともに，若年層の新規加入者がいない。
- ・江田島市体育協会は専門部が個々に活動しており，江田島市体育協会全体で事業をしている印象がない。
- ・専門部の事務を個人の家でしている。
- ・市スポーツセンターが利用しにくい。江田島公園は，団体間での利用調整が大変である。

#### (イ) 今後取り組みたいこと

- 新規会員の確保，指導者，審判員を養成したい。
- ・江田島市スポーツ少年団，中学校，高等学校の部活動との連携を強化したい。

#### (ウ) 江田島市体育協会の運営に関する意見

- ・江田島市体育協会の事務局体制を充実し，専門部の事務全般を担当して欲しい。事務局長を配置し，事務処理だけでなくスポーツ振興に向けてビジョンのある取組をして欲しい。
- ・スポーツイベントへのボランティア参加を年 1 回にして欲しい。

#### (エ) 江田島市への要望

- 施設使用料の見直し。（減免，免除）
- ・市の広報紙，インターネットでスポーツ団体の活動を PR して欲しい。
- ・江田島市体育協会専門部の共同事務室を市総合運動公園や市スポーツセンターへ設置して欲しい。
- ・各競技のスポーツ公認指導員の養成を支援して欲しい。
- ・市スポーツセンターの設備，備品を更新して欲しい。

- ・ソフトボールチームが小中学校のグラウンドで気軽に練習できるようにして欲しい。(2～3人でキャッチボールするにも使用料がある。)
- ・市民全体がスポーツに参加できる総合スポーツ大会を開催して欲しい。

### (3) 江田島市スポーツ少年団

●は、アンケート調査で意見の多かったものです。

#### ア 活動上の問題点

- 人口減少に伴い会員数が減少し、対外試合に参加できないなど活動が停滞している。
- 指導者、審判員の確保、養成が難しくなっている。
- 施設の使用料（夜間照明使用料を含む）や大会参加の際の個人負担が大きい。
  - ・子どもの趣味の多様化、送迎の問題で少年団活動に参加できない子どもがいる等、スポーツに親しむ子どもが減少している。
  - ・江田島市スポーツ少年団の指導者相互の交流が少ない。

#### イ 今後取り組みたいこと

- 活動の活性化に向けて会員募集方法の工夫、活動内容の見直しを行う。
  - ・プロ野球選手の野球教室の開催により、スポーツへの関心を高めたい。
  - ・様々な団体との交流機会を増やし、小中学生の会員確保に結びつけたい。

#### ウ 江田島市体育協会、江田島eスポーツクラブとの連携について

- ・各種目の審判資格のある人を紹介して欲しい。
- ・バスケットボール部は、現在小学生しか試合に出場できないので、中高生チームが本大会に出場できる方法を検討して欲しい。
- ・江田島eスポーツクラブ主催の大会を開催して欲しい。
- ・他種目の競技団体と交流を図り、こうしたネットワークを通じて小中学生の会員を増やしたい。

#### エ 江田島市への要望

- ・広報で活動を紹介し、会員を募集して欲しい。
- ・小学生がスポーツに親しめるように、学校教育の中でスポーツ観戦機会を充実して欲しい。
- ・施設使用料（夜間照明使用料を含む）の免除、江田島市によるマイクロバス等の貸出を行って欲しい。
- ・市スポーツセンター以外の体育館の備品、管理を充実して欲しい。

#### (4) 江田島eスポーツクラブ

##### ア 活動の現状と問題点

- ・スタッフと資金の問題があり、事務局体制が不十分である。

##### イ 今後取り組みたいこと

- ・総合的なスポーツ推進を図るために、スポーツの企画、立案、実施ができる人材を集め、事務局体制を構築したい。こうした体制のもとで、スポーツイベントの事務局も担いたい。
- ・江田島市体育協会と連携して、運営に取り組みたい。
- ・小中高生のスポーツへの関心を高めるため、プロスポーツ選手（野球、バスケットボール等）との交流に力を入れたい。
- ・教室数は現状を維持し、将来は、質の高いプロ指導者による教室づくりをしたい。
- ・トレーニングルームの機器の充実とトレーニングの補助ができる人材を確保したい。
- ・スポーツイベントは市と連携して盛り上げるほか、他団体との連携も強化したい。

##### ウ 江田島市への要望

- ・スポーツ振興に教育委員会だけでなく、観光部門も応援して欲しい。
- ・市総合運動公園について、広域的な陸上競技大会を開催するため、公認グラウンドに整備して欲しい。また、利用の少ないゲートボール場をテニスコートに改修して欲しい。

#### (5) 江田島市スポーツ推進委員協議会

- ・ニュースポーツの普及活動を行っているが、一定の報酬はあるが活動を活発にすれば個人負担が増える状況にある。
- ・スポーツ推進委員の周知は不十分であり、自治会等を通じてPRしたい。

#### (6) 江田島市運動普及推進協議会

- ・市民に自分の体力に応じた運動の普及を図っており、ボランティアで活動している。運動普及推進員養成講習会を近年開催していないため、新規の運動普及推進員が養成できていない。
- ・江田島市の特性を活かした様々なウォーキングコースづくりをしており、こうしたコースの利用促進を図るほか、市民の健康づくり研修会への参加を促進したい。

## 資料4 計画策定の経緯

### 1 江田島市スポーツ推進計画審議会委員名簿

区分	氏名	所属
委員長	上林 太	江田島市体育協会会長
副委員長	白澤 文恵	江田島市社会教育委員会議議長
委員	平根 幸江	江田島市スポーツ推進委員協議会会長
	岡崎 弘行	江田島市スポーツ少年団本部長
	小道 廣海	NPO法人江田島eスポーツクラブ理事長
	濱中 繁美	江田島市自治会連合会会長
	古本 真機	江田島市老人クラブ連合会会長
	下田 豊子	江田島市女性会連合会会長
	古居 俊彦	江田島市PTA連合会会長（平成27年度）
	小林 幸男	江田島市PTA連合会会長（平成28年度）
	西本 舞	江田島市子ども会連合会会長（平成27年度）
	松田 憲二	江田島市子ども会連合会会長（平成28年度）
	大井 恵子	江田島市運動普及推進協議会会長
		畑河内 真

### 2 審議経過

区分	開催日等	内容
第1回審議会	平成27年 12月8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員長，副委員長の選任について</li> <li>・江田島市スポーツ推進計画策定の進め方について</li> <li>・スポーツに関する市民アンケート調査内容について</li> </ul>
市民アンケート調査	平成28年 1月～2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに関する市民アンケート調査の実施（郵送による配布回収）</li> </ul>
学校体育・スポーツ団体ヒアリング	平成28年 1～2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育：中学校4校，高等学校1校</li> <li>・スポーツ団体</li> </ul>
スポーツ団体アンケート調査	平成28年 2～3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江田島市体育協会専門部</li> <li>・江田島市スポーツ少年団</li> </ul>
第2回審議会	平成28年 3月22日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツに関する市民アンケート調査結果について</li> <li>・スポーツ団体ヒアリング，スポーツ団体アンケート調査結果について</li> </ul>
第3回審議会	平成28年 4月25日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江田島市スポーツ振興計画（平成22年3月）の進捗状況について</li> <li>・江田島市スポーツ推進計画（素案）について</li> </ul>
第4回審議会	平成28年 6月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江田島市スポーツ推進計画（素案）について</li> </ul>
第5回審議会	平成28年 8月23日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントの意見対応について</li> <li>・江田島市スポーツ推進計画（素案）について</li> </ul>